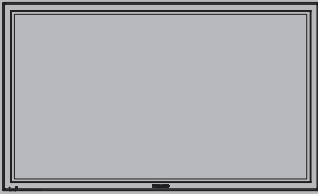
Panasonic®

品　番
TH-65PF30 (65V型)
TH-60PF30 (60V型)

取扱説明書
ハイビジョンプラズマディスプレイ（業務用）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3〜8ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-65PF30（65V型）、TH-60PF30（60V型）共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

TQZW539

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

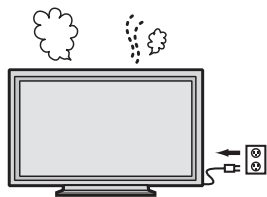
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⚠	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■故障（画面が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！ 電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください

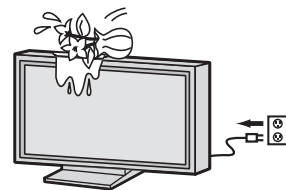
電源プラグを抜く

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く

■壁掛け工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

● 指定の別売オプションをご使用ください。

■異物を入れないでください

禁止

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

● 表紙および 3 ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

電源コードについて

■ クラスⅠ構造の本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください。

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

禁止

火災や感電の原因となります。

■ 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください

湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

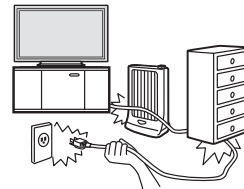
感電の原因となります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外では使用しないでください

禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

■ 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

禁止

傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

● 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ アースは確実に行ってください

感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

● アース工事は専門業者にご依頼ください。

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

水ぬれ禁止

水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

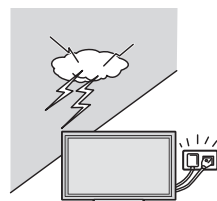
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器）

■ ぬらしたりしないでください

水ぬれ禁止

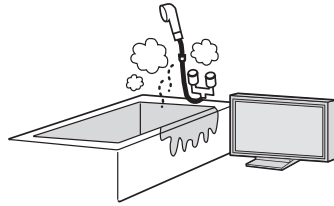
火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください

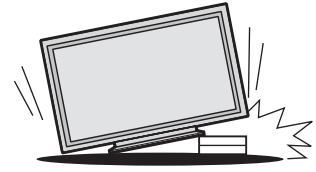
接触禁止

感電の原因となります。

⚠警告

■風呂場、シャワー室では使用しないでください

水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かないでください

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

⚠注意

■本機の通風孔をふさがないでください

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- ● 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。(工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は10 cm以上、後面は7 cm以上の間隔をおいて据えつけてください。)
- ● 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- ● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- ● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■上に物を置かないでください

禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください

禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■本機に脚立を立てかけるなどしないでください

禁止

落下してけがの原因となることがあります。

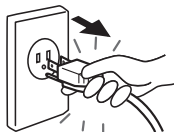
■湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください

禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、接続線をはずしてください

コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグや機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

■ 接続ケーブルの処理は確実に行ってください

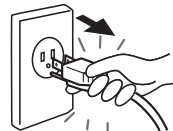
ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

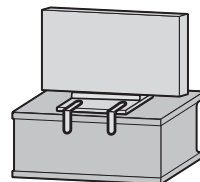
■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ ディスプレイパネルはガラス製ですので、強い力や衝撃を加えないでください

けがの原因となることがあります。

■ 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■ 据置きスタンド(別売)をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください

地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

■ 接続ケーブルを引っぱったり、ひっかけたりしないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

■ 電池を入れるときには、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください

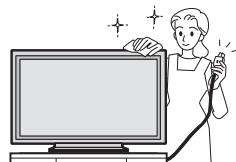
機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■ 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因となることがあります。

3D グラス

警告

誤飲防止について

■ **電池、付属のバンドやノーズパッドは、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止について

■ **3Dグラスを分解したり、改造しないでください**

火災や視聴時の異常による体調不良の原因になります。

コイン型リチウム電池の取り扱いについて

■ **電池を火の中に入れたり、加熱したりしないでください**

破裂して事故の原因になります。

注意

3D 映像の視聴について

■ **光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dグラスを使用しないでください**

病状悪化の原因になることがあります。

■ **3Dグラスで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止してください**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

● 適度な休憩をとってください。

■ **3D映画などをご覧になる場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとってください**

■ **3Dゲームやパソコンなどの双方向にやり取りできる機器の3D映像をご覧になる場合は、30 ～ 60分を目安に適度に休憩をとってください**

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。

■ **コンテンツについては市販されているブルーレイディスク等や3D放送等をご使用ください。**

■ **コンテンツをご自分で用意される場合は、3D用として適切に制作されたコンテンツをご使用ください。**

目の疲れや体調不良の原因となることがあります。

■ **3Dグラスを使用しているときに誤ってディスプレイの画面や人をたたかないでください**

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因になることがあります。

■ **3Dの映像を見るときは3Dグラスをご使用ください**

■ **3Dグラスは、両目を水平に近い状態で視聴してください**

■ **近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで3Dグラスをご使用ください**

■ **3D映像を視聴中に、はっきりと2重に像が見えたら使用を中止してください**

■ **画面の有効高さの3倍以上の視距離で見てください**

[推奨距離]TH-60PF30: 2.2m以上
TH-65PF30: 2.4m以上

推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。映画のように上下に黒帯がある場合は、映像部分の高さに対して3倍以上の視距離でご覧ください。（上記推奨距離よりも短くなります。）

⚠注意

3D グラスの使用について

■ **3Dグラスでの視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にしてください**

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

● お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れが無いか、ご注意ください。

■ **3Dグラスに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください**

そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。

■ **3Dグラスをかけたまま移動しないでください**

周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。

■ **3Dグラスは、指定の用途以外には使用しないでください**

■ **3Dグラスを割れた状態で使用しないでください**

けがや目の疲れの原因になることがあります。

■ **3Dグラスを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かないでください**

3D映像を実際の物に間違えて身体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。

■ **肌に異常を感じたら3Dグラスの使用を中止してください**

ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因になることがあります。

■ **鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら3Dグラスの使用を中止してください**

長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。

3D グラスについて

■ **3Dグラスに物を落としたり、力を加えたり、踏んだりしないでください**

ガラス部分などが破損してけがの原因になることがあります。

● 付属のケースに入れて保管してください。

■ **3Dグラスのヒンジ部に指をはさまないようにしてください**

けがの原因になることがあります。

● 付属のケースに入れて保管してください。

■ **3Dグラスを装着時は、フレームの先端にご注意ください**

目をついてけがの原因になることがあります。

コイン型リチウム電池の取り扱いについて

■ **極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください**

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。

■ **指定以外の電池を使用しないでください**

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

● **機器相互の干渉に注意してください。**

プラズマディスプレイの影響を受けて、ビデオやラジオ等の映像や音声に雑音が入ったり誤動作する場合があります。
（発生した場合はディスプレイ本体から十分離してご使用ください。）

● **機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**

各機器の説明書に従って、接続してください。

● **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**

本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● **本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**

指定の取り付けユニットをご使用ください。
（☞ 10ページ）

● **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

● **直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**

キャビネットの変形や故障の原因となります。

● **本機を移動されるとき。**

ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

● **本機を縦置きに設置されるとき。**

縦置き設置時は、電源スイッチを上側にして設置してください。
また、「初期設定」メニューの「ディスプレイ設置」を「縦」に設定してください。（☞55ページ）

■ ご使用になるとき

● **本機は残像が発生することがあります。**

画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と映像の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。
画面モードをジャストやフル、ズームにしてご覧になると軽減されます。静止画や静止文字を長時間表示した場合、同様に残像が発生します。この場合は、動きのある映像でしばらくお使いいただくと、少し軽減されますが、完全に消えませんのでご注意ください。

● **ディスプレイパネル表面について**

ディスプレイパネル表面に指紋や汚れが付くと、きれいな映像が見られません。
傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

● **適度の音量で隣近所への配慮を**

特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

● **ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。**

前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

● **長時間ご使用にならないときは**

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
リモコンで電源を切った場合は約 0.7 W（待機電力低減設定「オフ」）または約 0.4 W（待機電力低減設定「オン」）、本体の電源を切った場合は約 0.2 W の電力を消費します。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● **キャビネットはやわらかい乾いた布で**

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤（中性）にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

● **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない**

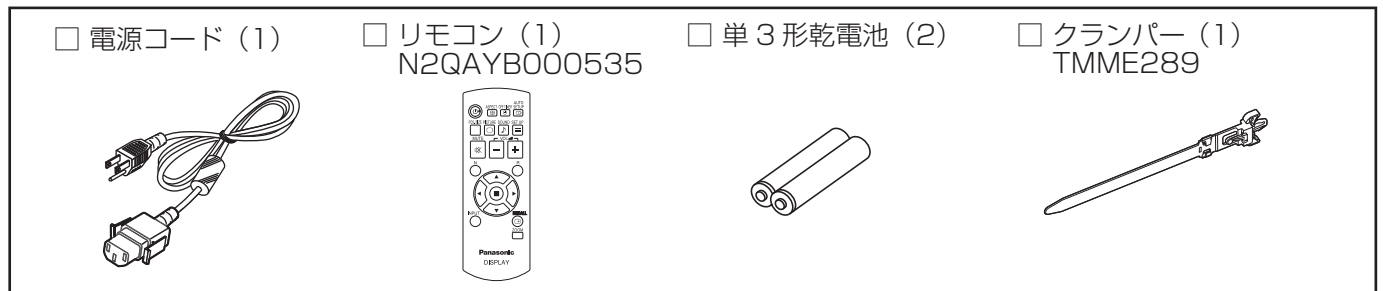
キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

● **ディスプレイパネルの前面は時々、やわらかい布（綿・ネル地など）で軽くふく**

・ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
・水滴が内部に入ると故障の原因になります。

（お知らせ）ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

付属品の確認

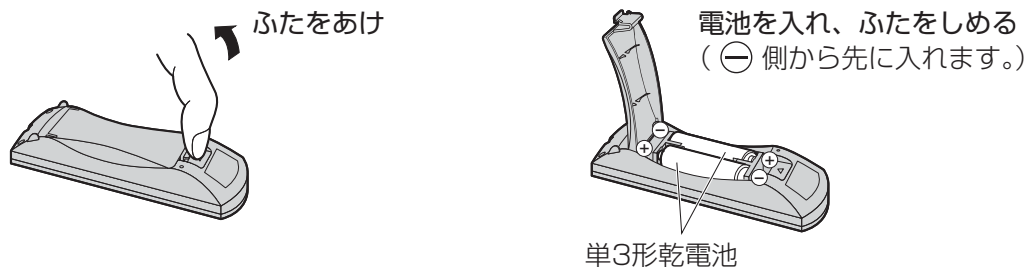
付属品が入っていることをご確認ください。（　　）は個数です。

別売オプション

別売オプションの設置は、しっかり取り付けてください。（取り付けは専門の業者にご依頼ください。）

- 据置きスタンド：
  TY-ST58P20（60V型用　色調：黒色）
  TY-ST65P20（65V型用　色調：黒色）
- 移動式スタンド：TY-ST58PF20（60V型用）
- 壁掛け金具
  角度可変型：TY-WK65PR20
- スピーカー：
  TY-SP58P10K（60V型用　色調：黒色）
  TY-SP65P11K（65V型用　色調：黒色）
- デュアルビデオ端子（BNC）ボード：TY-FB9BD
- DVI-D端子ボード　：TY-FB11DD
- Dual DVI-D端子ボード（3D対応）：TY-FB30DD3D
- Dual Link HD-SDI端子ボード　：TY-FB11DHD
- Dual HD-SDI端子ボード（3D対応）：TY-FB30DHD3D
- HD-SDI端子ボード（音声対応）：TY-FB10HD
- AVターミナルBOX：TY-TB10AV
- デュアルHDMI端子ボード　：TY-FB10HMD
- Irスルー端子ボード：TY-FB9RT
- 地上デジタルチューナーボード　：TY-FB11DTJ
- 3D IR トランスミッター：TY-3D30TRW
- 光学式タッチパネル：TY-TP65P10S（65V型用）
- 映り込み軽減フィルター：TY-AR65P9W（65V型用）

お願い

- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

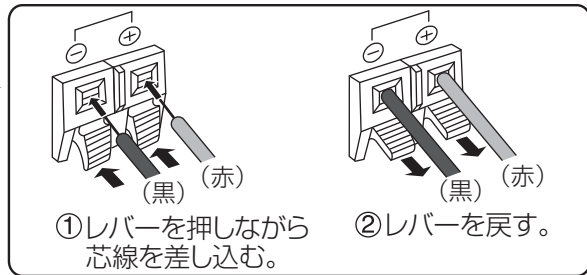
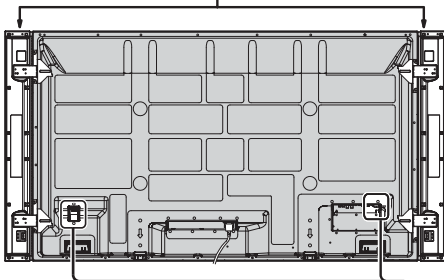
リモコンの電池の入れかた

お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
  また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

接続

スピーカー端子の接続

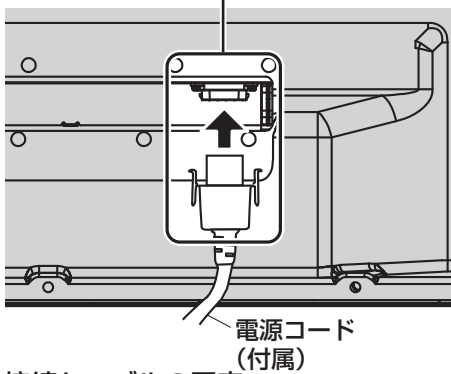
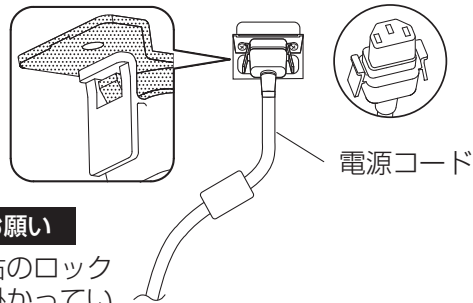
本体後面

例：TH65PF30

お願い ⊕と⊖をショートさせないでください。

電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定

お願い

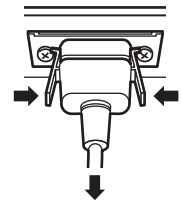
付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

本体後面

電源コードの固定方法

お願い

左右のロックが掛かっていることを確認してください

電源プラグを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

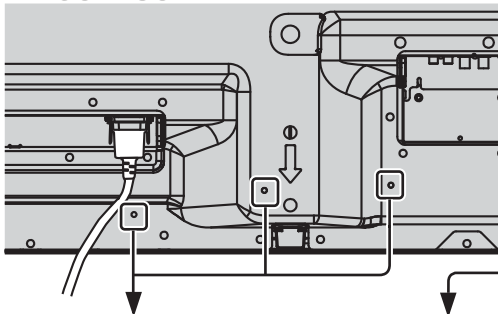
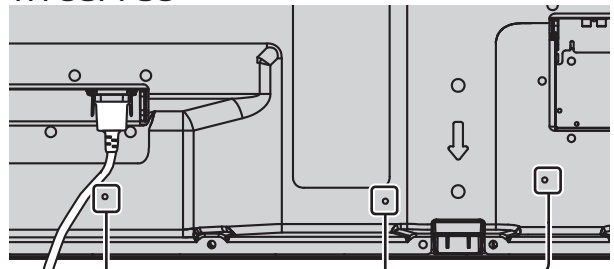
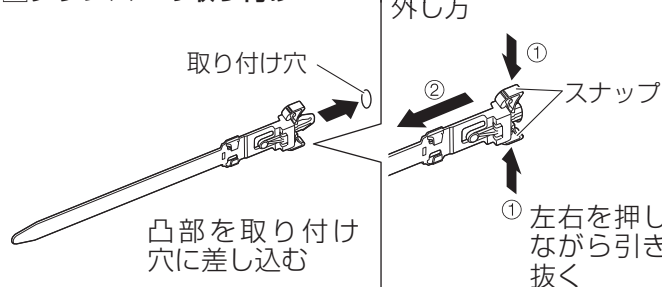
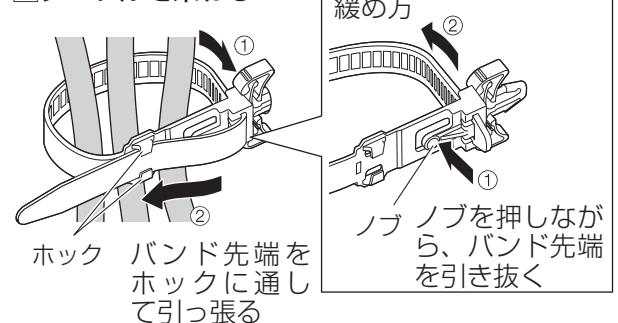
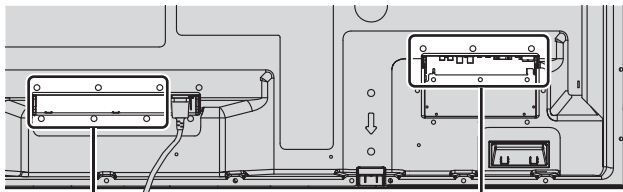
電源コードを外すとき

電源プラグ横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

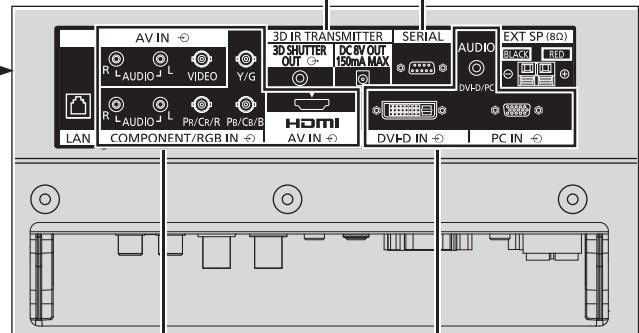
電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

接続ケーブルの固定

お願い

本機はクランパーを1本だけ付属しています。ケーブルを3 ヵ所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。

接続

映像機器の接続

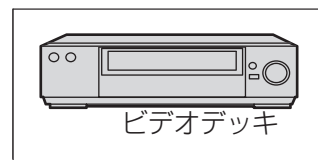
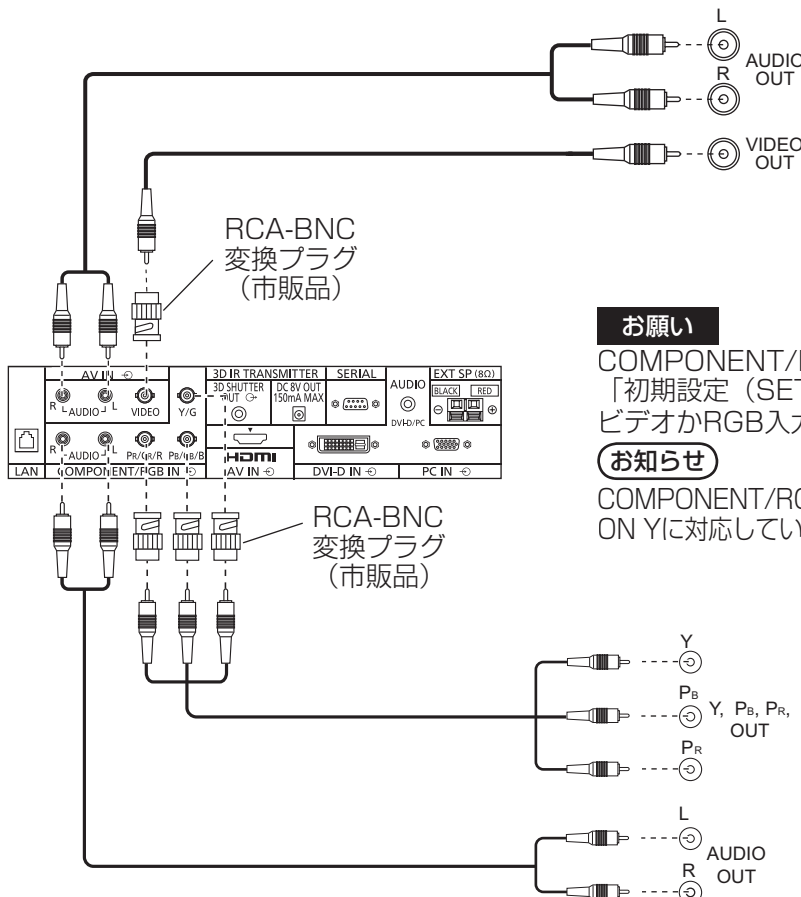
例：TH-65PF30

AV IN (VIDEO)：コンポジットビデオ入力端子(☞下記)
COMPONENT/RGB IN：コンポーネント/RGBビデオ入力端子(☞下記)
AV IN (HDMI)：HDMI入力端子(☞13ページ)
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像機器を接続します。

DVI-D IN：DVI-D入力端子(☞13ページ)
PC IN：パソコン入力端子
パソコンの映像端子または「Y、P_B(C_B)、P_R(C_R)」出力のある機器を接続します。
(☞14ページ)

VIDEO（ビデオ入力）端子、COMPONENT RGB IN（コンポーネント／ RGB入力）端子の接続例

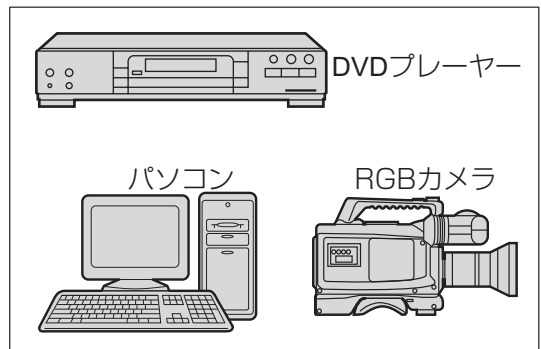
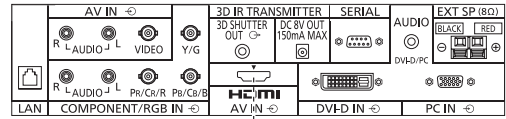
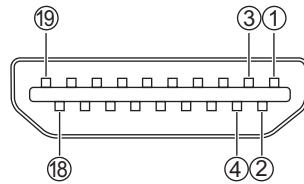
お知らせ

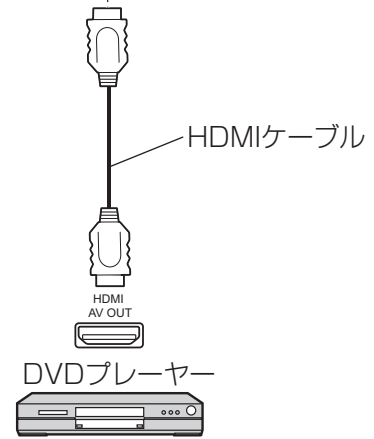
- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- ブラウン管の走査を利用した電子銃による光線銃等のゲーム機器はプラズマディスプレイの構造上、使用できません。

L
R
AUDIO OUT
VIDEO OUT
ビデオデッキ
RCA-BNC
変換プラグ
（市販品）
RCA-BNC
変換プラグ
（市販品）
Y
P_B
P_R
Y, P_B, P_R, OUT
L
R
AUDIO OUT
DVDプレーヤー
パソコン
RGBカメラ

お願い

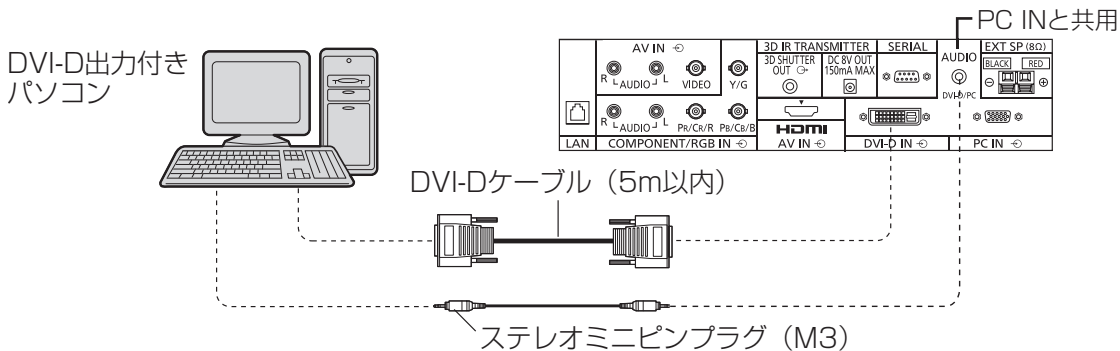
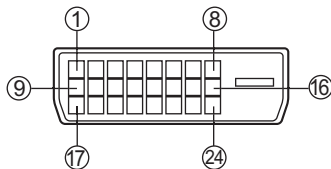
COMPONENT/RGB IN端子に接続された入力信号に合わせて「初期設定（SET UP）」の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB入力の選択を行ってください。（☞42ページ）

お知らせ

COMPONENT/RGB IN端子に入力の信号はSYNC ON GまたはSYNC ON Yに対応しています。

HDMI（HDMI入力）端子の接続例

HDMI端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ2 ＋	⑪	T.M.D.S クロックシールド
②	T.M.D.S データ2 シールド	⑫	T.M.D.S クロックー
③	T.M.D.S データ2 －	⑬	CEC
④	T.M.D.S データ1 ＋	⑭	予備 (接続なし)
⑤	T.M.D.S データ1 シールド		
⑥	T.M.D.S データ1 －	⑮	SCL
⑦	T.M.D.S データ0 ＋	⑯	SDA
⑧	T.M.D.S データ0 シールド	⑰	DDC/CEC グラウンド
⑨	T.M.D.S データ0 －	⑱	+5V 電源
⑩	T.M.D.S クロック＋	⑲	ホットプラグ検出

お知らせ

映像機器やHDMIケーブルは本機に付属していません。

DVI-D IN（DVI-D入力）端子の接続例

DVI-D入力端子のピン配列と信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 －	⑬	―――
②	T.M.D.S. データ 2 ＋	⑭	+5V 電源
③	T.M.D.S. データ 2 シールド	⑮	アース
④	―――	⑯	ホットプラグ検出
⑤	―――	⑰	T.M.D.S. データ 0 －
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S. データ 0 ＋
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑧	―――	⑳	―――
⑨	T.M.D.S. データ 1 －	㉑	―――
⑩	T.M.D.S. データ 1 ＋	㉒	T.M.D.S. クロック シールド
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S. クロック ＋
⑫	―――	㉔	T.M.D.S. クロック －

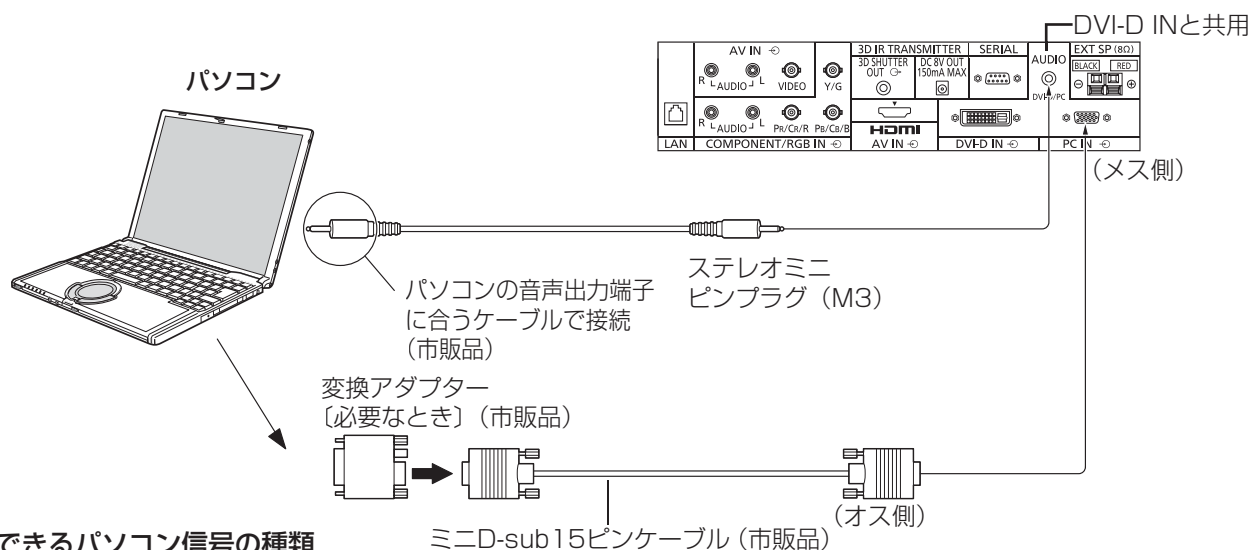
お願い

DVI-DケーブルはDVI規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

お知らせ

映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。

接続

PC IN（パソコン入力）端子の接続例

接続できるパソコン信号の種類

- 本機は、下の表に記載の代表的な 30 種類のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。
  表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。
  （対応周波数は水平：15 kHz ～ 110 kHz、垂直：48 Hz ～ 120 Hz です。）
  〈本体に記憶済みのパソコン信号一覧表〉　※ パソコン側が以下の信号に対応している必要があります。

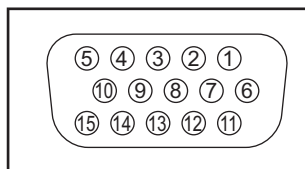
640×400:70 Hz	800×600:72 Hz	1280×768:60 Hz ※	1066×600:60 Hz ※
640×480:60 Hz	800×600:75 Hz	1280×960:60 Hz	1366×768:60 Hz ※
640×480:72 Hz	800×600:85 Hz	1280×960:85 Hz	1920×1080:60 Hz
640×480:75 Hz	1024×768:60 Hz	1280×1024:60 Hz	640×480:67 Hz（Mac13"）
640×480:85 Hz	1024×768:70 Hz	1280×1024:75 Hz	832×624:75 Hz（Mac16"）
852×480:60 Hz ※	1024×768:75 Hz	1280×1024:85 Hz	1152×870:75 Hz（Mac21"）
800×600:56 Hz	1024×768:85 Hz	1600×1200:60 Hz	
800×600:60 Hz	1152×864:75 Hz	1600×1200:65 Hz	

- 解像度は「ノーマル」で最大1440×1080ドット、「フル」で最大1920×1080ドットの表示が可能です。（SXGA 対応）
  水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が上記の表に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。（パソコンの取扱説明書をご確認ください）

お願い　この端子（ミニD-sub15 ピン）は、コンポーネント（色差）ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」で色差ビデオかRGB 入力の選択を行ってください。（☞ 42 ページ）

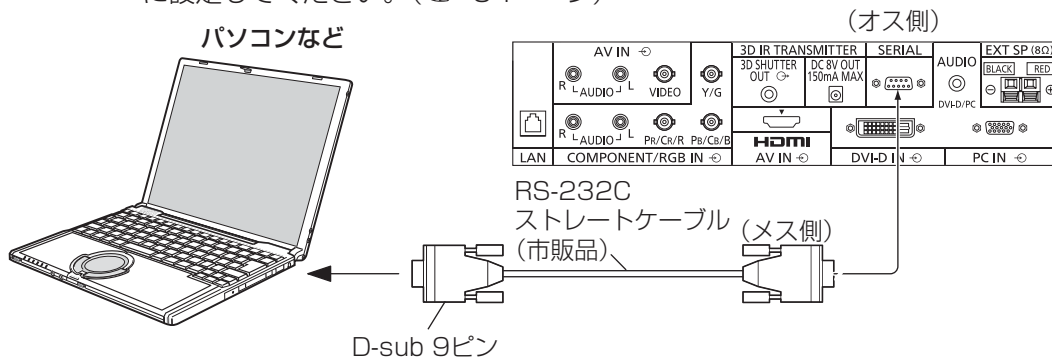
お知らせ
- ディスプレイのプラグ･アンド･プレイ（DDC2B）に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
- D-sub15 ピン端子の機種やMacintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。

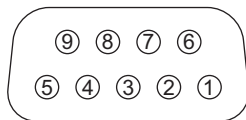
  ※パソコンのミニD-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子（ミニD-sub15ピン）のピン配列と信号名

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
①	R(P_R / C_R)	⑥	GND(アース)	⑪	NC(無接続)
②	G(Y)	⑦	GND(アース)	⑫	SDA
③	B(P_B / C_B)	⑧	GND(アース)	⑬	HD ／ SYNC
④	NC(無接続)	⑨	+5 V DC	⑭	VD
⑤	GND(アース)	⑩	GND(アース)	⑮	SCL

SERIAL（シリアル）端子の接続例（パソコンで制御する場合）

SERIAL（シリアル）端子はRS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。

お知らせ　本機をシリアル制御する場合は「ネットワーク設定」メニューの「制御端子選択」を必ず「RS-232C」に設定してください。（☞ 54ページ）

お願い　SERIAL（シリアル）端子とパソコンをつなぐ通信用RS-232Cストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

ピン配列と信号名

本体側
シリアル〈SERIAL〉端子

ピンNo.	信号名	内　容
①	CD	NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④	DTR	未使用
⑤	GND	グランド
⑥	DSR	未使用
⑦	RTS	（本体側で短絡）
⑧	CTS	（本体側で短絡）
⑨	RI	NC

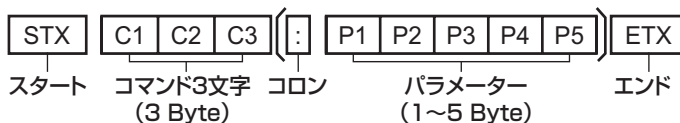
※ パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期（非同期）
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

STX	C1	C2	C3	:	P1	P2	P3	P4	P5	ETX
スタート	コマンド3文字（3 Byte）			コロン	パラメーター（1〜5 Byte）					エンド

お願い　複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン（:）は必要ありません。

お知らせ
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドIMSのS1AとS1Bを選択できるのは、2入力の端子ボード装着時のみです。

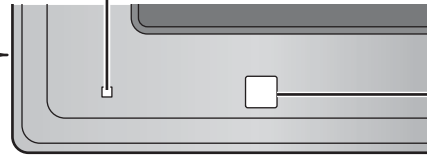
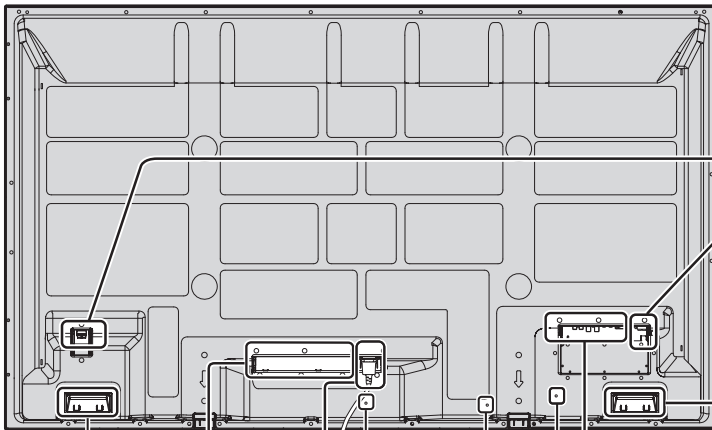
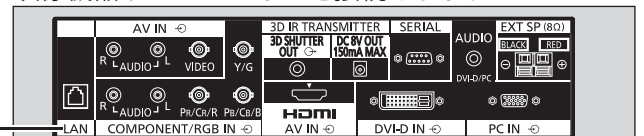
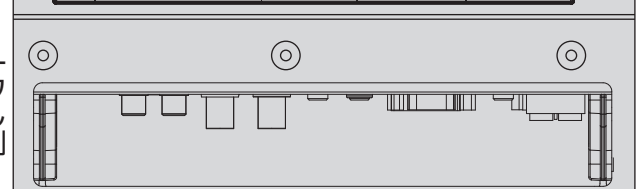
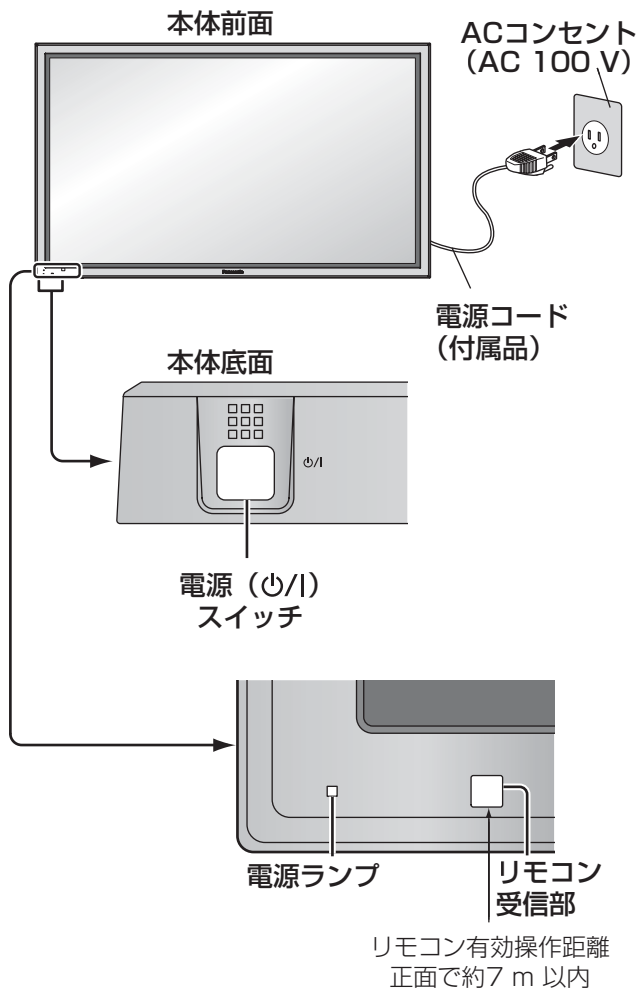
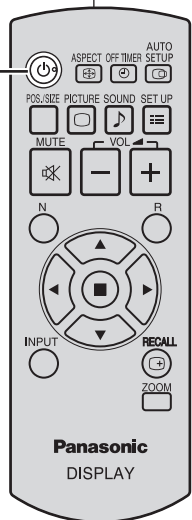
コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	＊＊	音量 00 ～ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
I MS	なし	入力切換（トグル）
	SL1	SLOT入力（SLOT INPUT）
	S1A	SLOT入力（SLOT INPUT A）
	S1B	SLOT入力（SLOT INPUT B）
	VD1	VIDEO入力（VIDEO）
	YP1	COMPONENT/RGB IN入力（COMPONENT）
	HM1	HDMI入力（HDMI）
	DV1	DVI-D IN入力（DVI）
	PC1	PC IN入力（PC）
DAM	なし	画面モード切換（トグル）
	ZOOM	ズーム（ビデオ/SD/パソコン信号時）
	FULL	フル
	JUST	ジャスト（ビデオ/SD信号時）
	NORM	ノーマル（4：3）（ビデオ/SD/パソコン信号時）
	ZOM2	サイドカットズーム（HD信号時）
	SJST	サイドカットジャスト（HD信号時）
	SNOM	サイドカットノーマル（HD信号時）
	SFUL	サイドカットフル（HD信号時）

各部の基本説明

リモコン

お願い
- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

ディスプレイ本体
イラストはTH-65PF30です。
前 面
電源ランプ
ディスプレイ本体の電源「入」のとき
●映像表示状態 ……………………………緑色点灯
●リモコンで「切」(スタンバイ状態) ……………赤色点灯
・Slot powerが「On」のとき ………………………橙色点灯
・装着ボードの種類により、
スロットに電源供給されるとき ………………橙色点灯
・制御端子選択が「LAN」のとき ……………橙色点灯
●PCパワーマネージメントで電源「切」(DPMS機能) (☞ 42ページ) …橙色点灯
●DVI-Dパワーマネージメントで電源「切」(☞43ページ) …橙色点灯
ディスプレイ本体の電源「切」のとき ………………消灯
リモコン受信部
電源(⏻/I):電源を「入」・「切」します。
INPUT:接続された機器を選択します。(☞ 20ページ)
MENU:メニュー画面を表示します。(☞ 27ページ)
VOL ー+/▲▼:音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。
ENTER /■:メニュー画面で項目を決定します。/拡大画面を選択します。
●電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
本体の底面にボタンがあります。
INPUT
MENU
ー/▼ VOL◢ +/▲
ENTER/■
後 面
右スピーカーを接続します。(☞11ページ)
左スピーカーを接続します。(☞11ページ)
お知らせ
別売りの専用スピーカーをご使用ください。接続は、専用スピーカーに付属のスピーカーコードをご使用ください。
ハンドル
ハンドル
クランパー(付属)で接続ケーブルを固定します。(☞11ページ)
電源コードを接続・固定します。(☞11ページ)
SLOT: 端子ボード(別売オプション)取付用スロット (☞10ページ)
お知らせ
右側のスロットは2スロット幅の端子ボード用です。右側に1スロット幅のボードを取り付けても動作しません。
外部入力端子(☞12ページ)
映像機器やパソコンなどを接続します。
AV IN
AUDIO
VIDEO
Y/G
3D IR TRANSMITTER
3D SHUTTER OUT
DC 8V OUT 150mA MAX
SERIAL
AUDIO
DVI-D/PC
EXT SP (8Ω)
BLACK
RED
PR/CR/R
PB/CB/B
HDMI
LAN
COMPONENT/RGB IN
AV IN
DVI-D IN
PC IN
LAN端子
(☞ 63ページ)ネットワークに接続して本機を制御します。
端子は本体底面にあります。

基本の操作

電源を入れる
本体の電源「入」
(電源ランプ—赤色または橙色)
で押すと受像します。
電源を切る
電源「入」(電源ランプ---緑色)
で押すと電源「切」(電源ランプ---赤色)になります。

準備

電源プラグをコンセントへ接続します。
（AC 100 V 50 Hz/60 Hz）

お願い ● 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

電源を入れる

本体の電源（⏻/I）スイッチを押し電源を「入」にします。

電源ランプが緑色に点灯します。
● 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

本機の電源を「入」にした後、しばらくの間、下のように画面表示されます。

初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。
リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

お知らせ お買い上げ時にチューナーボードが装着されている場合、これらの画面は表示されません。
また、一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。
必要に応じて、次のメニューで設定してください。

表示言語切換 ☞ 43ページ
現在時刻設定 ☞ 53ページ
ディスプレイ設置 ☞ 55ページ

表示言語切換

①ご利用の言語を選択し、
②決定する。

現在時刻設定

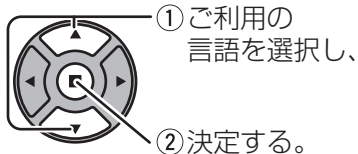
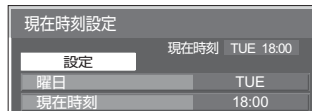
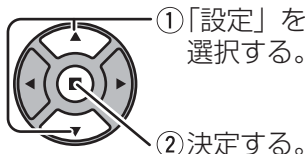
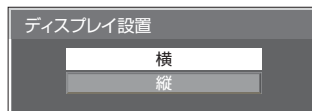
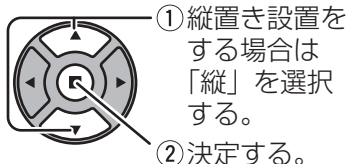
①「曜日」または「現在時刻」を選択する。
②設定する。

現在時刻設定
現在時刻 MON 99:99
設定
曜日 MON
現在時刻 99:99

①「設定」を選択する。
②決定する。

現在時刻設定
現在時刻 TUE 18:00
設定
曜日 TUE
現在時刻 18:00

ディスプレイ設置

①縦置き設置をする場合は「縦」を選択する。
②決定する。

ディスプレイ設置
横
縦

電源「入」時の警告メッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

3D警告メッセージ

３Ｄを不特定多数の方々に見せる場合、
または業務用途で使用する場合は、管理者が責任を持って、
以下の注意を３Ｄグラスの使用者にお伝えください。
また、ご家庭で使用する場合も、以下の注意をしてください。

・３Ｄを正しく、快適に見ていただくために取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みください。
・体調不良の状態での３Ｄのご視聴はお止めください。
・ご視聴中に体に疲れを感じられたら、直ちに使用を中止してください。
・コンテンツについては市販されているブルーレイディスク等をご使用ください。

3D映像を業務用途などで不特定多数の方々に視聴させる場合は、3D警告メッセージをご使用ください。

「3D映像」メニューの「3Dグラス」を「使う」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。（☞ 37ページ）

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。（☞ 43ページ）

これらのメッセージ表示は、次のメニューで設定できます。

「Options」メニュー

3D Safety Precautions（☞ 62ページ）

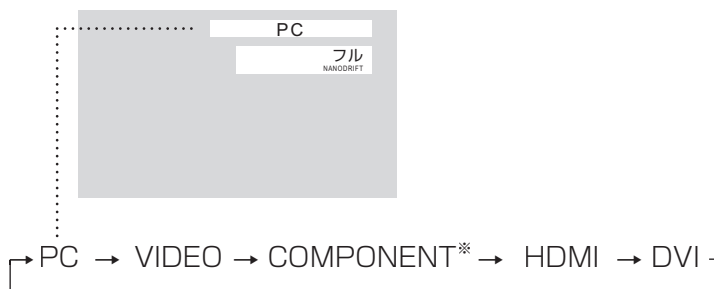
Power On Message（☞ 62ページ）

基本の操作

本体底面

入力信号を切り換える

INPUT ◯ または INPUT を押して本機に入力された信号を選択します。押すごとに切り換わります。

→PC → VIDEO → COMPONENT※ → HDMI → DVI

PC：PC IN端子のパソコン入力
VIDEO：VIDEO端子のビデオ入力
COMPONENT※：COMPONENT/RGB IN端子のコンポーネント/RGB入力
HDMI：HDMI端子のHDMI入力
DVI：DVI-D IN端子のDVI-D入力
※「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（☞ 42ページ）

オプションの端子ボードを装着した場合：

→PC →SLOT INPUT →VIDEO →COMPONENT→ HDMI→ DVI

SLOT INPUT：端子ボードの入力信号
- 本機が対応していない端子ボードが装着されている場合は「非対応ファンクションボード」と表示します。

2 入力の端子ボードを装着した場合：

→PC→ SLOT INPUT A → SLOT INPUT B→ VIDEO → COMPONENT → HDMI→ DVI

SLOT INPUT A、SLOT INPUT B：2入力端子ボードの入力信号

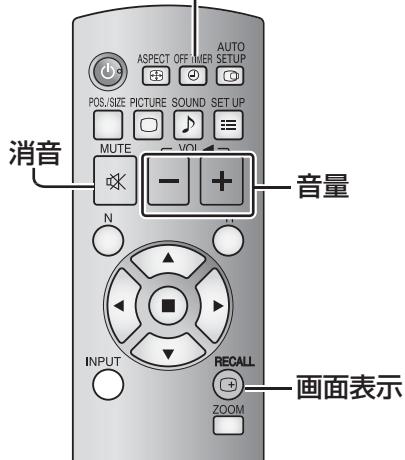
- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。（☞ 48ページ）
- 「Audio input select」で設定した音声が出力されます。（☞ 58ページ）
- 「Input lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。（☞ 60ページ）
- コンポーネント（色差）ビデオ、RGBの切り換えは、接続した機器に合わせて初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」で設定します。（☞ 42ページ）
- ビデオ入力は「NTSC」「PAL」「SECAM」などのカラーシステム方式の切り換えができます。（☞ 38ページ）
- 静止画を長時間映すと、プラズマディスプレイパネルに映像の焼き付き（残像現象）を起こす恐れがあるため、画面を少し暗くする機能（☞ 72ページ）が働きますが十分ではありませんのでご注意ください。
  このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能およびロングライフ設定のご利用をおすすめします。（☞ 44・45ページ）

本体底面

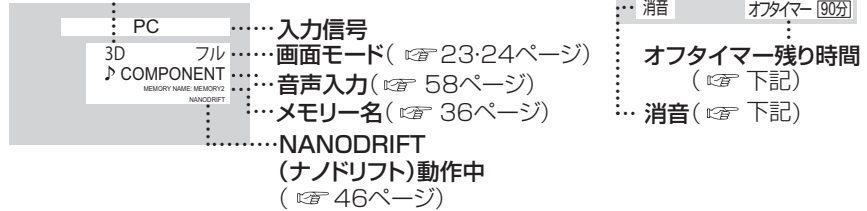
オフタイマー

消音

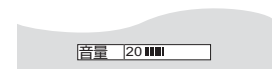
音量

画面表示

入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

RECALL を押すと現在の入力信号と画面モードおよび現在時刻を約5秒間表示した後、オフタイマーと消音が動作中の場合はオフタイマーの残り時間を約3秒間、消音を約10秒間表示します。

- 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約30秒間表示されます。
- 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock Display」を「On」に設定してください。（☞53・61ページ）

音量を調整する

VOL − + または −/▼ VOL◢ +/▲ を押して音量を調整します。

- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- Maximum VOL level（最大音量設定）が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示（数値）は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。（☞60ページ）

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの応対のとき便利です。

MUTE を押します。

消音

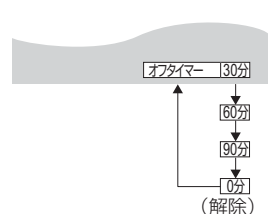
画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。

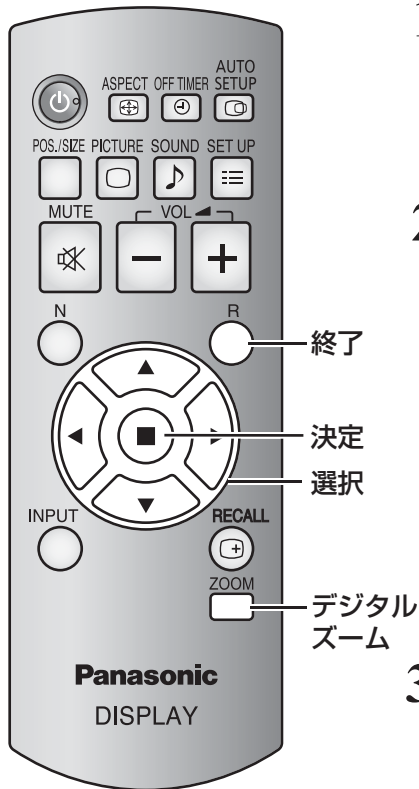
- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

オフタイマー（OFF TIMER）を使う

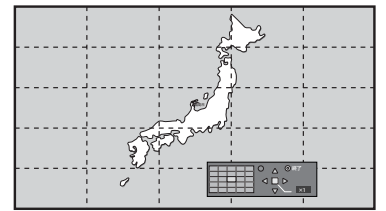
タイマー設定（30分、60分、90分）で自動的に電源を切ることができます。

OFF TIMER を押すごとにタイマー設定時間が選択できます。

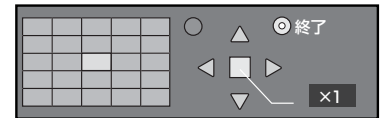
- タイマーが切れる3分前になると残り時間を点滅（赤色）表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは RECALL を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。

画面領域を拡大表示する（デジタルズーム）

拡大したい画面領域（25領域）を選び、選んだ画像領域を2倍、3倍、4倍に拡大します。
（リモコンで操作してください。本体底面のボタンでは操作できません。）

1 デジタルズームモードにする

ZOOM を押します。

画面のアスペクトは「フル」になり、
デジタルズーム操作ガイドが表示されます。

2 拡大したい画像領域を選ぶ

▲▼◀▶ を押して選びます。

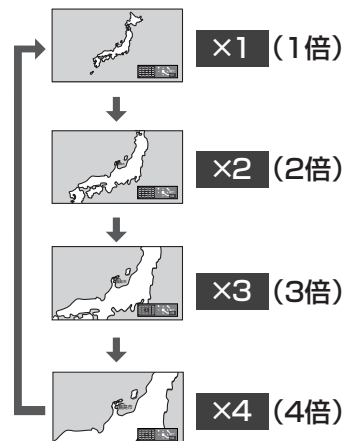
- 画面を拡大しているときでも選べます。
- 以下のボタンを押すと、デジタルズーム モードのまま、押されたボタンの動作を行います。

デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

■ を押すごとに、切り換わります。

- **画面の拡大率が「×1（1倍）」の場合に、** 約60秒間操作をしないと、終了します。
- **画面の拡大率が「×2（2倍）」、「×3（3倍）」、「×4（4倍）」の場合に、** 約3秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

▲▼◀▶ のいずれかを押すと、再度表示します。

×1（1倍）
×2（2倍）
×3（3倍）
×4（4倍）

4 デジタルズームモードを終了する

R を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。その後、押されたボタンの動作を行います。

本体底面：

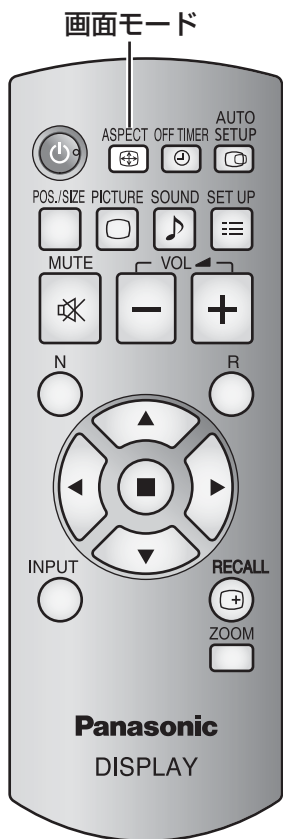
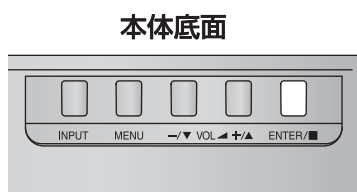
INPUT　MENU　ENTER/■

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
  - ・本体の電源スイッチを「切」にしたとき
  - ・オフタイマーやタイマー設定で電源が「切」になったとき
  - ・無信号自動オフやDPMS機能などで電源が「切」になったときなど

お知らせ

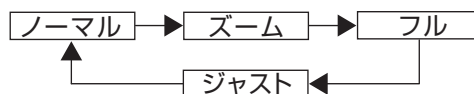
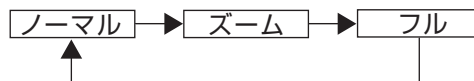
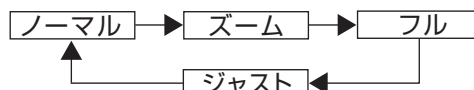
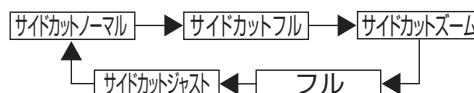
- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
  - ・「マルチ画面設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
  - ・「ポートレート設定」を拡大分割画面「オン」に設定しているとき
  - ・スクリーンセーバー（色反転を除く）起動中のとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。

映像に合わせた拡大画面にする（ASPECT）

本体底面

画面モード

ASPECT または ENTER/■ を押すごとに切り換わります。

画面モードの詳しい説明については、68ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

● ビデオ（Sビデオ）信号のとき

● パソコン信号のとき

● SD信号（525（480）/ 60i · 60p、625（575）/ 50i · 50p）のとき

● HD信号（1125（1080）/ 60i · 50i · 60p · 50p · 24p · 25p · 30p · 24sF、750（720）/ 60p · 50p、1250（1080）/ 50i）のとき

お知らせ　画面モードは入力端子ごとに記憶します。
2入力の端子ボード装着時は、各入力（A/B）ごとに記憶します。

映像の横縦比（アスペクト）

放送や映像ソフトにより画面の横と縦の比が異なります。

放送・映像ソフト	横縦比
● VHF、UHF放送 （一部のデジタル放送）	4 × 3
● ハイビジョン放送 ● ワイドクリアビジョン放送 ● ビスタビジョンサイズⅠソフト（一部のデジタル放送）	16 × 9
● ビスタビジョンサイズⅡソフト	5 × 3
● シネマビジョンサイズソフト	2.35 × 1

映像に合わせた拡大画面にする（ASPECT）

■全画面モード（All Aspect）

オプションメニューの「All Aspect」を「On」に設定すると（☞ 62ページ）、より幅広い拡大画面の切り換えができます。全画面モードにすると、拡大画面は次のように切り換わります。
画面モードの詳しい説明については、68ページ「画面モード一覧」をご覧ください。

● ビデオ（Sビデオ）信号入力時のとき

→ 4:3 → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just ┐（4:3へ戻る）

● パソコン信号のとき

→ 4:3 → Zoom → 16:9 ┐（4:3へ戻る）

● SD信号（525（480）/ 60i・60p、625（575）/ 50i・50p）のとき

→ 4:3 → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just ┐（4:3へ戻る）

● HD信号（1125（1080）/ 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF、750（720）/ 60p・50p、1250（1080）/ 50i）のとき

→ 4:3 Full → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just1 → Just2 → 4:3(1) → 4:3(2) ┐（4:3 Fullへ戻る）

お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をズーム･ジャスト･フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

3D映像を見る

別売の3Dグラスで3Dに対応したコンテンツなどを見ると、3D映像が楽しめます。

(お知らせ)

本機で3D映像をお楽しみいただくには、別売の3D IR トランスミッターと3Dグラスが必要です。
詳しくは3D IR トランスミッターおよび3Dグラスの取扱説明書をご覧ください。

本機は「フレームシーケンシャル※1」、「サイドバイサイド※2」、および「トップアンドボトム※3」「サイマル※4」3D方式に対応しています。
※1 右目と左目に入る画像を鮮明度の高い品質で録画し、交互に再生する3D方式
※2, ※3 ☞ 26ページ「設定･入力信号と映像の見えかたのイメージ」参照
※4 サイマル方式の3D映像をご覧になるには下記の端子ボードが必要です。
Dual HD-SDI端子ボード（3D対応）（TY-FB30DHD3D）、Dual DVI-D端子ボート（3D対応）（TY-FB30DD3D）

3D映像を見る

フレームシーケンシャル形式のコンテンツを見る（3D映像対応のブルーレイディスクなど）
HDMIケーブルを用いて3D対応プレイヤーを本機に接続し（☞ 13ページ）、コンテンツを再生してください。
- HDMI規格に準拠したケーブルをご使用ください。
- プレイヤーの設定方法は、プレイヤーの取扱説明書をご覧ください。
- 3Dに対応していないプレイヤーを使用している場合は、3D映像が表示されません。

フレームシーケンシャル以外の3D形式コンテンツを見る
映像を見る前に画像形式を「3D方式切換」で設定してください（☞ 37ページ）。
- 3Dに対応していないプレイヤーを使用している場合でも、「サイドバイサイド」と「トップアンドボトム」の3D効果をお楽しみいただけます。
- このサービスのご利用については、コンテンツやプログラムの供給元にお問い合わせください。

① **3Dグラスの電源を入れる**
- 3Dグラスの取り扱いかたは、3Dグラスの取扱説明書をご参照ください。

② **3Dグラスを装着する**
③ **3D映像を見る**

(お知らせ)

- 蛍光灯を点灯した室内で3Dグラスを使用すると、光がちらついて見えることがあります。その場合は、蛍光灯を消灯するか、または「3D リフレッシュレート」を「100Hz」または「120Hz」のちらつきが軽減される方に設定してください（☞ 40ページ）。
- 3Dグラスの上下を逆さまにしたり裏と表を逆にして装着すると、3D映像が正しく見えません。
- 3D映像を見るとき以外は3Dグラスを装着しないでください。3Dグラスを装着していると、液晶画面（PC、デジタル時計、計算機など）が見えにくいことがあります。
- 3Dグラスをサングラスとして使用しないでください。
- 3D効果は、人によって見え方に個人差があります。

3D映像を見る

3Dグラスのトラブルシューティング

こんなとき	ここをお調べください
3D映像にならない	● 3D映像に切り換わっていますか? ● 「3D映像」の「3Dグラス」が「使う」になっているか確認してください（☞ 37ページ）。 ● 3D映像信号の中には、自動では3D映像と認識されないものがあります。（☞ 下記）画像形式を合わせるため、「3D映像」で「3D方式切換」を設定してください。 ● 3D IR トランスミッターと3Dグラスの間に物を置いていませんか?トランスミッターからの赤外線信号が途絶えると、5分後に自動的に電源が切れます。 ● 3Dグラスの視聴可能範囲を確認してください 。 ● 人によっては3D映像が見えにくかったり全く見えない場合があります。左右の視力に差がある場合は、特にそうなりがちです。3Dグラスをご使用になる前に、視力を矯正するなど、必要な対策を講じてください。
3Dグラスの電源が勝手に切れる	● 3D IR トランスミッターと3Dグラスとの間に障害物がないか、また3Dグラスを視聴可能範囲内で使用しているか確認してください。トランスミッターからの赤外線信号が途絶えると、5分後に自動的に電源が切れます。
3D映像がおかしい	●「3D 映像」の「左右反転」で「オフ」と「オン」を切り換えてください（☞ 37 ページ）。
3Dグラスの電源を入れてもインジケータランプが点灯しない	● 電池が消耗していませんか? 電池を交換または3Dグラスを充電してください。

設定・入力信号と映像の見えかたのイメージ

映像の見え方がおかしい場合は、下の表を参考にして、正しい3D方式を選択してください。

3D 方式切換 / 入力信号	オート	サイドバイサイド	トップアンドボトム	2D
サイドバイサイド	※1	（正常な 3D 映像） ※2		
トップアンドボトム	※1		（正常な 3D 映像） ※2	
2D	（正常な 2D 映像）			（正常な 2D 映像）

※1 映像が正しく認識されない場合

※2 「3Dグラス」が「オン」になっていると、3D映像になります。「オフ」になっていると、3D効果は得られません。

● 接続している機器やコンテンツによっては、上記の内容と違う場合があります。

オンスクリーンメニューについて

	リモコン	本体

1 メニュー画面を表示する

押して選ぶ

（例：画質の調整メニュー）

数回押す

MENU

押すたびにメニュー画面が切り換わります。

通常画面→画質の調整→初期設定
音声の調整←画面位置／サイズ

2 設定項目を選択する

（例：画質の調整メニュー）

選ぶ

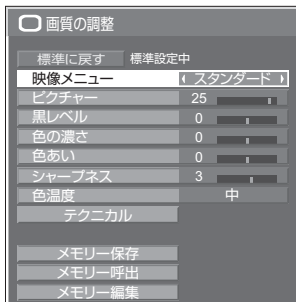
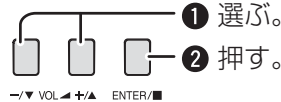
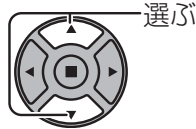
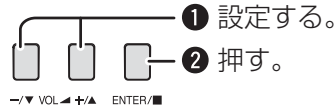
❶ 選ぶ。
❷ 押す。

3 設定する

設定する

❶ 設定する。
❷ 押す。

4 設定を終了する

押す

数回押す

MENU

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

画質の調整

☞ 32～36ページ

初期設定

初期設定 1/2

項目	設定
3D映像	
信号モード	
スクリーンセーバー	
ロングライフ設定	
入力表示書換設定	
コンポーネント入力切換	RGB
消費電力低減設定	オフ
待機電力低減設定	オン
PCパワーマネージメント	オフ
DVI-Dパワーマネージメント	オフ
無信号自動オフ	無効
無操作自動オフ	無効
表示言語切換	日本語

初期設定 2/2

項目	設定
マルチ画面設定	
ポートレート設定	
タイマー設定	
現在時刻設定	
ネットワーク設定	
ディスプレイ設置	横

☞ 37～55ページ

画面位置／サイズ

画面位置／サイズ

項目	設定
標準に戻す	標準設定中
自動位置補正	
水平位置	0
水平サイズ	0
垂直位置	0
垂直サイズ	0
ドットクロック	0
クロック位相	0
クランプ位置	0
1:1ピクセルモード	オフ

☞ 28～30ページ

音声の調整

音声の調整 1/2

項目	設定
標準に戻す	標準設定中
音声メニュー	スタンダード
バス	0
ミッド	0
トレブル	0
バランス	0
サラウンド	オフ

SDI音声出力 2/2

項目	設定
左チャンネル	チャンネル1
右チャンネル	チャンネル1
サウンド出力	オフ
レベルメーター	オフ

☞ 31ページ

画面位置 / サイズの調整（POS./SIZE）

1 POS./SIZE 押して「画面位置／サイズ」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定をする。

4 POS./SIZE 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

● 「画面位置／サイズ」メニュー画面

お知らせ 調整できない項目は、グレー表示になります。
信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

自動位置補正

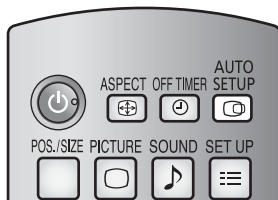
パソコン信号入力時などに「水平／垂直位置」、「水平／垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。
本設定は以下の条件で動作します。
・本設定は、マルチ画面、ポートレートまたはデジタルズーム時には動作しません。
・アナログ信号（コンポーネント/PC）入力時：
　パソコンフォーマットの信号で、初期設定（SET UP）の「コンポーネント入力切換」（☞ 42ページ）が「RGB」のときに本設定が有効になります。
・デジタル信号（HDMI/DVI）入力時：
　パソコンフォーマットの信号のときに本設定が有効になります。
　パソコンフォーマットの信号でない場合、「オーバースキャン」（☞ 29ページ）が「オフ」または「1:1ピクセルモード」（☞ 30ページ）が「オン」のときに本設定が有効になります。「水平／垂直サイズ」は自動補正しません。

また、次の場合には本設定は無効になり、動作しません
・ビデオ信号のとき
・画面モードが「ジャスト」や「サイドカットジャスト」のとき
・Optionsメニューの「Display size」（☞ 61ページ）を「On」に設定しているとき

対応する信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、 （ ）**を押す。**

ENTER/■

リモコンで操作する

AUTO SETUP **を押すと自動位置補正が動作します。**

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

■Autoモード

Optionsメニューの「Auto Setup」を「Auto」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。（☞ 62ページ）
・ディスプレイの電源を「入」にしたとき
・入力信号が切り換わったとき

お知らせ

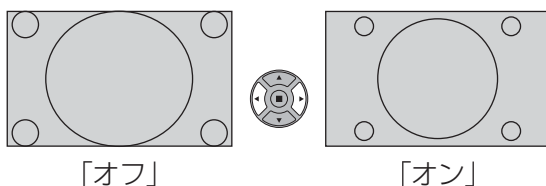
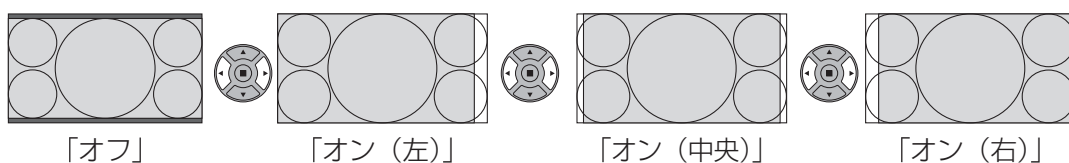
- アナログ信号でドットクロック162 MHz以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- デジタル信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置／サイズなどの微調整をおこなってください。
- 垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGAモード」（☞39ページ）で 個別信号を選択設定しておくと、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3値同期信号が付加された映像信号などには自動位置補正はうまく動作しません。

お願い

- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「標準に戻す」を選び、■ を押した後、手動で位置／サイズなどの調整をおこなってください。

項目	説明
水平位置	画面を左右に移動します。
垂直位置	画面を上下に移動します。
水平サイズ	画面を左右に拡大／縮小します。
垂直サイズ	画面を上下に拡大／縮小します。
ドット クロック（コンポーネント/PC入力時）	縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。
クロック位相（コンポーネント/PC入力時）	RGB信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっとも見やすくなるよう調整してください。
クランプ位置（コンポーネント/PC入力時）	映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合にクランプ位置を調整します。 **クランプ位置調整の最適値** 黒部分がつぶれている場合 →黒部分のつぶれがもっとも改善する値が最適値です。 黒部分が緑色になっている場合 →緑色部分が黒くなりつぶれていない値が最適値です。
オーバースキャン	画像のオーバースキャンをオン／オフします。 設定が可能な信号は以下の通りです。 525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI） 「オン」 「オフ」 お知らせ ● 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。 ● Optionsメニューの「Display size」が「On」のとき、本設定は無効になります。（☞ 61ページ）

画面位置 / サイズの調整（POS./SIZE）

1:1 ピクセルモード	1125i、1125pや1250iのとき、画面サイズを調整します。 「オフ」　「オン」 **対応する入力信号** 1125（1080）/50i、60i、24sF、24p、25p、30p、50p、60p、1250（1080）/50i ● 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。 ●「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズは調整できません。
1:1 ピクセルモード（2k1k） （2k1k信号の場合）	入力信号が2k1k信号（2048×1080/24p、2048×1080/24sF）のとき、画面サイズは次のように調整されます。 「オフ」　「オン（左）」　「オン（中央）」　「オン（右）」 お知らせ　2k1k信号は、Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）またはDual HD-SDI端子ボード（3D対応）（TY-FB30DHD3D）装着時のみ受像可能となります。

お知らせ　調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

音声の調整（SOUND）

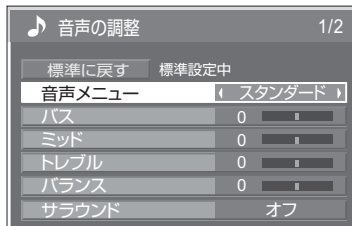
1 SOUND ♪ 押して「音声の調整」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 SOUND ♪ 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「音声の調整」メニュー画面

標準に戻す 標準に戻す 標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■ 音声メニュー

最適な音質を選びます。

音声メニュー スタンダード ……**スタンダード**：送られてくるそのままの音で聞きます。
ダイナミック：メリハリ感を強調した音で聞きます。
クリア：人の声を聞きやすくした音で聞きます。

■ バス／ミッド／トレブル／バランス

バス 0 ……低音を調節します。
ミッド 0 ……中音域を調節します。
トレブル 0 ……高音を調節します。
バランス 0 ……左右の音量を調節します。

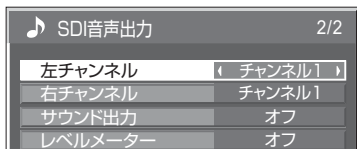
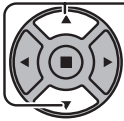
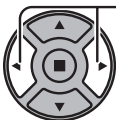
● バス、ミッド、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。

■ サラウンド

サラウンド オフ ……**オフ**：通常の音声。
オン：臨場感のある音声。

SDI音声出力

本メニューは、下記の端子ボードが装着されているスロットを選択しているときのみ設定できます。
HD-SDI端子ボード（音声対応）（TY-FB10HD）、Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）、
Dual HD-SDI端子ボード（3D対応）（TY-FB30DHD3D）

●「SDI音声出力」メニュー画面

左チャンネル	**チャンネル1 ～ 16**	左チャンネルの音声チャンネルを選択します。
右チャンネル	**チャンネル1 ～ 16**	右チャンネルの音声チャンネルを選択します。
サウンド出力	**オフ**：SDI音声を出力しません。 **オン**：SDI音声を出力します。	
レベルメーター	**オフ** **1-8ch** **9-16ch**	ディスプレイに表示する音声レベルメーターの音声チャンネルを設定します。音声レベルメーターは、ディスプレイの左右に4チャンネルずつ、計8チャンネル表示します。「オフ」にすると音声レベルメーターを表示しません。

画質の調整（PICTURE）

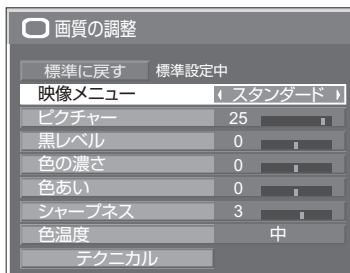
1 PICTURE 押して「画質の調整」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 PICTURE 押して設定を終了する。

R を押すと1つ前の画面に戻ります。

●「画質の調整」メニュー画面

お知らせ　調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す　標準に戻す　標準設定中

メニュー表示中に N を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに ■ を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

■映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

映像メニュー　スタンダード ……**スタンダード**：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。
ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
シネマ：映画を見る場合に適した画像になります。
（映画館のような、暗い画面で階調性を重視した画像）
モニター：放送局や映画コンテンツの作成用途に適しています。
画面全体の平均輝度（APL）が変化しても、同じ信号レベルであれば明るさが変化しない画像になります。

お知らせ　「映像メニュー」を「モニター」にすると、以下のメニューは設定できません。

画質の調整：	ピクチャー
初期設定：	消費電力低減設定（☞ 42ページ）
ロングライフ設定：	ピーク制限（☞ 46ページ）
マルチ画面設定：	AI連動（☞ 50ページ）
ポートレート設定：	AI連動（☞ 52ページ）

■ピクチャー

映像の明暗度を調整します。

ピクチャー　25　暗く　明るく

お知らせ
● 「映像メニュー」は入力端子ごとに記憶します。2入力の端子ボード装着時は、各入力（A/B）ごとに記憶します。
● 「ピクチャー」は明るい映像のときにより明るく、また暗い映像のときにより暗く調整してもわずかしか変化しません。

■黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

暗く　明るく

■色の濃さ

色の濃さ　0　淡く　濃く

■色あい

肌色部分の色あいを調整します。

色あい　0　赤紫色がかった色に 緑色がかった色に

■シャープネス

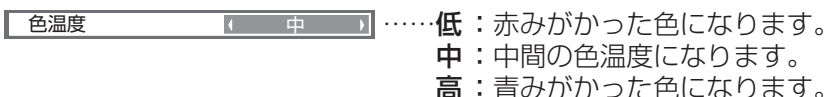
映像輪郭の鮮明度を調整します。

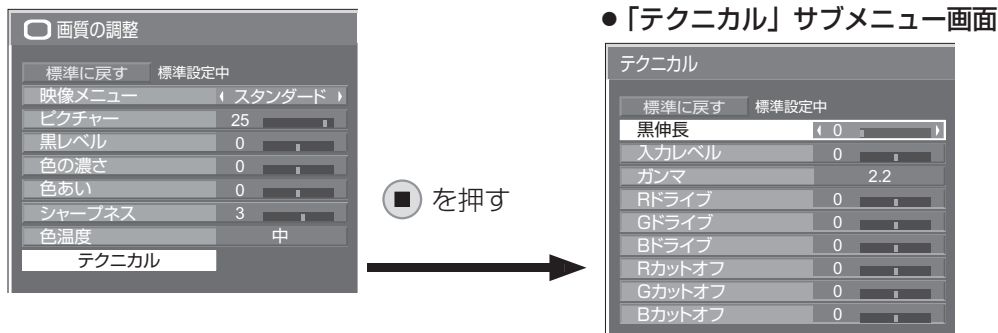
ソフト　シャープ

■色温度

画面の色調を切り換えます。

色温度	◂ 中 ▸

……**低**：赤みがかった色になります。
中：中間の色温度になります。
高：青みがかった色になります。

テクニカル調整

お好みにより、さらにきめ細かな調整を行うことができます。

●「テクニカル」サブメニュー画面

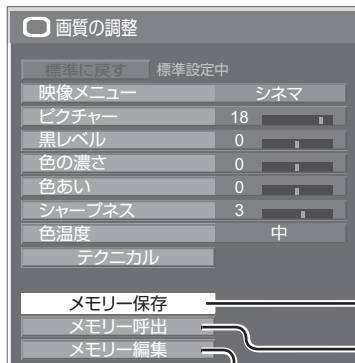
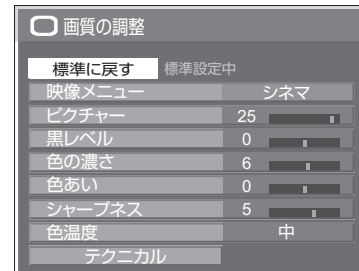
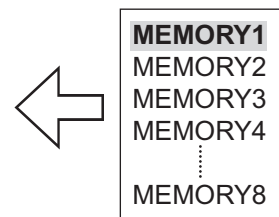
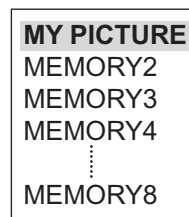
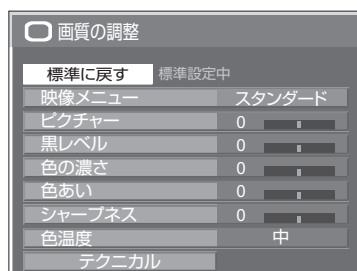
(お知らせ) 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

標準に戻す ［標準に戻す｜標準設定中］

メニュー表示中に(N)を押す、または「標準に戻す」を選んでいるときに(■)を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。「標準設定中」の表示は緑色になります。

調整項目	調整範囲	調整内容
黒伸長	0（補正なし）～8（補正強）	中間より暗い部分の階調の変化を調整します。
入力レベル	−32（レベル低）～+32（レベル高）	特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。
ガンマ	S カーブ　2.0　2.2　2.6	明るさ感を調整します。
Rドライブ	−30（色温度高）～+30（色温度低）	赤色の明るい部分の強弱を調整します。
Gドライブ	−30～+30	緑色の明るい部分の強弱を調整します。
Bドライブ	−30（色温度低）～+30（色温度高）	青色の明るい部分の強弱を調整します。
Rカットオフ	−30（色温度高）～+30（色温度低）	赤色の暗い部分の強弱を調整します。
Gカットオフ	−30～+30	緑色の暗い部分の強弱を調整します。
Bカットオフ	−30（色温度低）～+30（色温度高）	青色の暗い部分の強弱を調整します。

メモリー機能を使う

8通りの映像調整値（「画質の調整」メニューと「テクニカル」）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

メモリー機能を使う

メモリーを保存する

映像調整値をメモリーに保存します。

(お知らせ) 「ロングライフ設定」で設定ロック中のとき、メモリーの保存はできません。

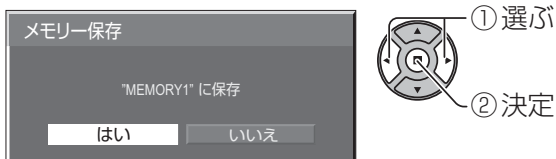
1 「画質の調整」メニューと「テクニカル」で、画質を設定する。(☞ 32・33ページ)

2 「画質の調整」メニューで「メモリー保存」を選ぶ。

①選ぶ
②決定

3 映像調整値を保存するメモリー名を選ぶ。

すでに映像調整値が保存されているメモリーには「*」が表示されます。

4 「はい」を選ぶ。

5 メモリー名を入力する。

[メモリー名の入力方法]

メモリー名は最大40文字まで設定できます。
画面上に表示されたキーボードで文字を選んで文字を入力します。
文字入力ボックスには、すでにメモリー名が入力されています。必要に応じてメモリー名を変更してください。

例：「MY PICTURE」に設定する

①「全削除」を選ぶ。

MEMORY1█

文字が全て削除されます。
文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

②「M」を選ぶ。

M█

この操作を繰り返し、文字を入力します。

③「Y」を選ぶ。

MY█

④「空白」を選ぶ。

MY █

6 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリーを呼び出す

メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

お知らせ
- 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。(☞ 20ページ)
- 「ロングライフ設定」で設定ロック中のとき、メモリーの呼び出しはできません。

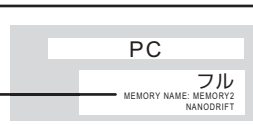
1 「画質の調整」メニューで「メモリー呼出」を選ぶ。

メモリー保存
メモリー呼出
メモリー編集

①選ぶ
②決定

メモリーを呼び出しているときは
メモリー名を表示します。

PC
フル
MEMORY NAME: MEMORY2
NANODRIFT

2 呼び出すメモリーを選ぶ。

メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

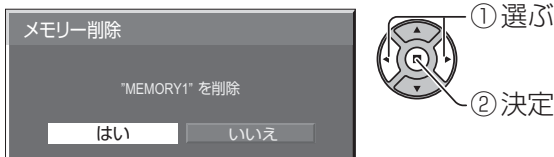
■メモリーを削除する

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。

2 「メモリー削除」を選ぶ。

3 削除するメモリーを選ぶ。

全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

4 「はい」を選ぶ。

■メモリー名を変更する

1 「画質の調整」メニューで「メモリー編集」を選ぶ。

2 「メモリー名変更」を選ぶ。

3 名前を変更するメモリーを選ぶ。

4 メモリー名を入力する。
メモリー名の入力方法
☞ 35ページ

5 メモリー名の入力が終わったら「確定」を選ぶ。

「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。

初期設定 (SET UP)

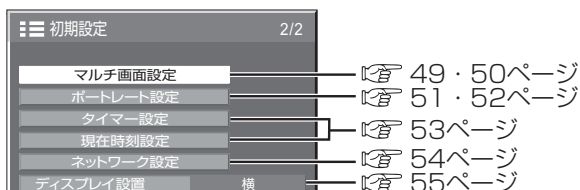
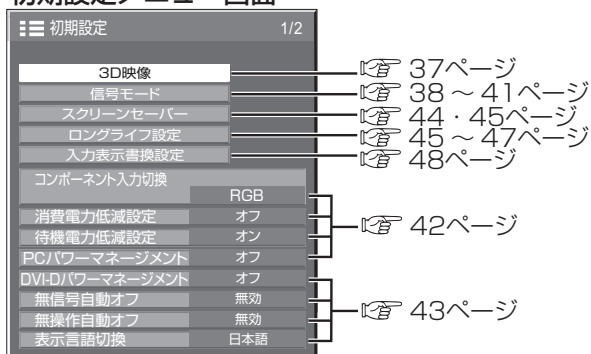
1 SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2 押して設定項目を選択する。

3 押して設定する。

4 SET UP 押して設定を終了する。

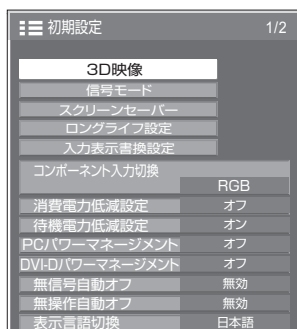
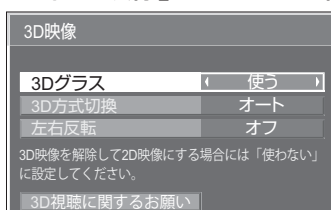
R を押すと1つ前の画面に戻ります。

● **初期設定メニュー画面**

3D映像

3D映像を見るための設定を行います。

(お知らせ) 本メニューは、入力端子ごとに設定してください。

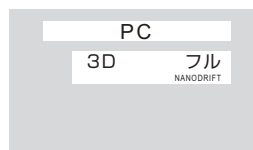
● **「3D映像」サブメニュー画面**

3D映像
3Dグラス 使う
3D方式切換 オート
左右反転 オフ
3D映像を解除して2D映像にする場合には「使わない」に設定してください。
3D視聴に関するお願い

■ 3Dグラス

使う ⟷ 使わない

使う: 3Dグラスを使用する。映像信号が3Dなら3D映像、2Dなら2D映像になります。

使わない: 3Dグラスを使用しない。3D映像は2D映像になります。

「使う」に設定すると3D映像時に「3D」と表示します。

■ 3D方式切換

3Dの映像方式を設定します。

オート: 3D映像信号を受信したときに、自動的に3D映像に切り換えて表示します。

サイマル: 下記の端子ボードを装着したスロットを選択しているときに設定します。
Dual HD-SDI端子ボード(3D対応)(TY-FB30DHD3D)、Dual DVI-D端子ボート(3D対応)(TY-FB30DD3D)

サイドバイサイド／トップアンドボトム: 「オート」で3D映像が正しく表示されないとき、3D映像の方式に合わせて設定できます。

2D: 2D映像で表示します。3D映像は正しく表示されません。

■ 左右反転

オフ ⟷ オン

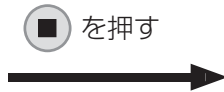
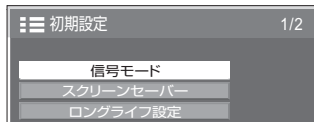
映像の左右が切り換わるタイミングと3Dグラスの左右のシャッターが切り換わるタイミングを補正します。
3Dグラスを装着して見ている3D映像に違和感を感じるとき、「オン」に切り換えてください。

■ 3D視聴に関するお願い

3D映像を視聴する際の注意文を表示します。

初期設定（SET UP）

信号モード

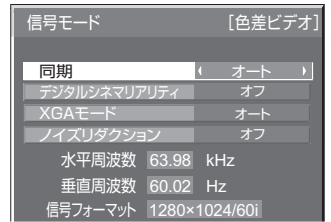
■ を押す

●「信号モード」サブメニュー画面

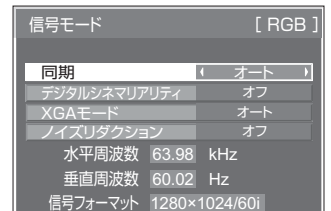
ビデオ(Sビデオ)入力時

信号モード [ビデオ]
3次元Y/C (NTSC) オフ
カラーシステム オート
デジタルシネマリアリティ オフ
ノイズリダクション オフ

コンポーネント(色差)ビデオ信号入力時

デジタル信号入力時

信号モード [Digital]
デジタルシネマリアリティ オフ
ノイズリダクション オフ
水平周波数 46.9 kHz
垂直周波数 75.0 Hz
ドットクロック周波数 108.0 MHz
信号フォーマット 1280×1024/60i

RGB / パソコン信号入力時

お知らせ 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。

■ 3次元 Y/C (NTSC)

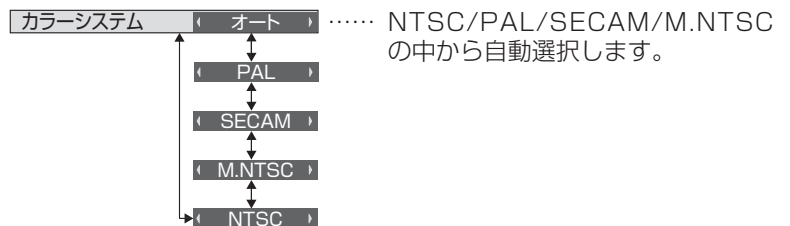
本メニューは、デュアルビデオ端子（BNC）ボード（TY-FB9BD）が装着されている場合に表示されます。
ビデオまたはSビデオ信号入力時、動いている映像が不自然に見えるときに設定します。
通常は「オン」でご覧ください。

3次元Y/C (NTSC) オン ↕ オフ

お知らせ NTSC方式の映像を映しているときに有効です。

■ カラーシステム

ビデオまたはSビデオ信号入力時、信号方式が合わず正常な映像にならない場合に方式選択します。

…… NTSC/PAL/SECAM/M.NTSCの中から自動選択します。

- 通常は「オート」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。
- 入力信号が劣化してノイズが多い、または信号レベルが低いときに「オート」に設定すると正常に表示されない場合があります。そのときは入力信号の方式に合わせて設定してください。

信号方式	水平走査周波数（kHz）	垂直走査周波数（Hz）	色副搬送波（MHz）
NTSC	15.73	59.94	3.58
PAL	15.63	50.00	4.43
PAL60※	15.73	59.94	4.43
SECAM	15.63	50.00	4.25 または 4.41
M.NTSC	15.73	59.94	4.43

※PAL60の映像をご覧になるときは「オート」または「PAL」を選択してください。

■ デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。
※ 通常は「オフ」に設定してください。

お知らせ
- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒24コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧になれます。
- 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。
- ビデオ(Sビデオ)入力時、NTSCおよびPAL信号に効果があります。
- コンポーネント（色差）ビデオ入力時、525i（480i）、1125（1080）/60i、625i（575i）信号に効果があります。

■XGAモード

本メニューは、アナログ信号（コンポーネント/PC）入力時に表示されます。
本機は、画角/サンプリングが異なる3種類の垂直周波数60Hz XGA信号（1024×768@60Hz、1280×768@60Hz、1366×768@60Hz）に対応しています。

……1024×768/1280×768/1366×768の中から自動選択します。画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ 本設定をおこなった後は、必要に応じて「画面位置／サイズ」メニューの各調整（「自動位置補正」など）をおこなってください。（☞28ページ）

■ ノイズリダクション

以下の3種類のNR（ノイズリダクション）機能をまとめて設定します。
NR、モスキートNR、ブロックNR

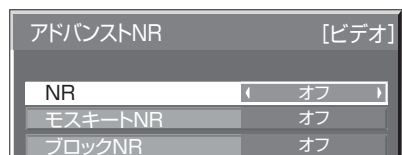
オフ……ノイズリダクションが無効になります。
弱／中／強……ノイズリダクションの強弱を設定します。
アドバンスト……下記のアドバンスト調整ができます。アドバンスト調整が映像に反映されます。

お知らせ パソコン信号入力のときは「ノイズリダクション」がグレー表示になり設定できません。

アドバンスト調整

3つのNR機能を個別に設定します。

ノイズリダクション アドバンスト …… 「アドバンスト」に設定して を押す。

「アドバンストNR」サブメニュー画面

……オフ、弱、中、強の中から選びます。

NR　　　　：映像のざらつき感を少なくします。
モスキートNR：MPEG映像の文字部分の周辺に現れるモスキートノイズを軽減します。
ブロックNR：MPEG映像の動画部分に現れるブロックノイズを軽減します。

初期設定（SET UP）

■ 同期

本機能はPC IN入力時に動作します。

●RGB / パソコン信号入力時

……HD/VD入力/SYNC ON Gが自動で切り換わります。HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。

……HD/VD入力/SYNC ON G両方に同期が入る場合で、SYNC ON Gで同期を取りたい場合に選択します。

……HD入力端子にコンポジット（VBS）信号を同期として接続する場合に選択します。例）同期のないR/G/B映像信号とVBS信号を出力する機器を本機に接続する場合、VBS信号をHD入力端子に接続しVBSを選択します。

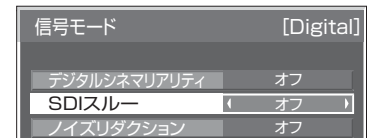
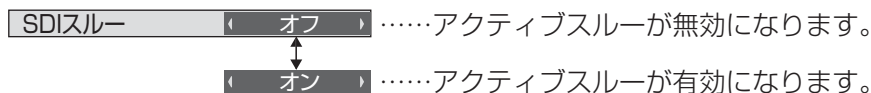
●コンポーネント（色差）ビデオ信号入力時

……HD/VD入力/SYNC ON Yが自動で切り換わります。HD/VD入力/SYNC ON Y両方に同期がある場合はHD/VD入力が優先されます。CS信号を接続する場合は、HD入力端子に接続してください。

……HD/VD入力/SYNC ON Y両方に同期が入る場合で、SYNC ON Yで同期を取りたい場合に選択します。

お知らせ COMPONENT/RGB IN端子に入力の信号はSYNC ON GまたはSYNC ON Yに対応しています。

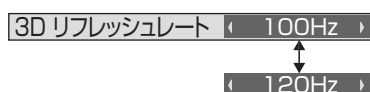
■ SDIスルー

本メニューはDual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）を装着したスロットを選択している時のみ設定できます。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）のアクティブスルー機能を設定します。

■ フレームクリエーション

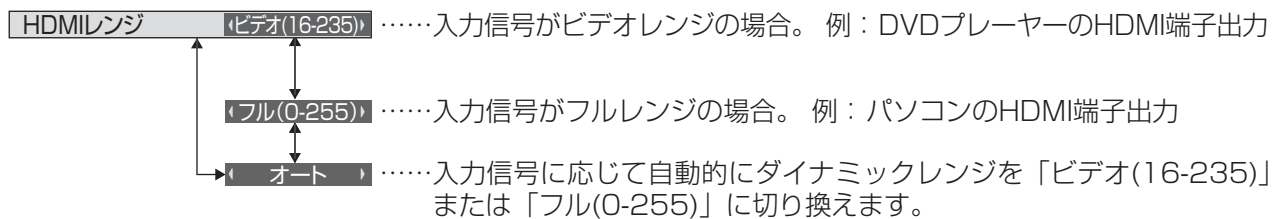
自動的にフレームレートを補正し、画像のブレを取り除いて滑らかな映像にします。

お知らせ ご覧になるコンテンツによっては画像にノイズが発生する場合があります。その場合は設定を変更してください。

■ 3D リフレッシュレート

3D映像時に、照明の干渉による画像のブレやちらつきを抑えます。

お知らせ 「フレームクリエーション」が「オフ」のとき、本設定は無効になります。

■HDMIレンジ

HDMI端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

お知らせ 本機能は、HDMI信号入力のみに設定できます。

■SDI信号フォーマット

本メニューはDual HD-SDI端子ボード（3D対応）（TY-FB30DHD3D）を装着したスロットを選択している時のみ設定できます。ボードに入力される信号フォーマットを設定します。

SDI信号フォーマット オート

オート ↔ YCbCr(4:2:2) 10bit ↔ YCbCr(4:2:2) 10bit 60p/50p
↔ YCbCr(4:4:4) 10bit ↔ RGB(4:4:4) 10bit
↔ YCbCr(4:2:2) 12bit ↔ YCbCr(4:4:4) 12bit
↔ RGB(4:4:4) 12bit ↔ XYZ(4:4:4) 12bit

オート: 入力信号に応じて信号フォーマットを自動選択します。

■入力信号表示（コンポーネント、RGB/パソコン、デジタル信号入力時）

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	63.98	kHz
垂直周波数	60.02	Hz
信号フォーマット	1280×1024/60i	

……表示範囲：水平走査周波数（15 kHz ～ 110 kHz）
垂直走査周波数（48 Hz ～ 120 Hz）

DVI信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

水平周波数	46.9	kHz
垂直周波数	75.0	Hz
ドットクロック周波数	108.0	MHz
信号フォーマット	1280×1024/60i	

初期設定（SET UP）

コンポーネント入力切換

コンポーネント／RGB入力（COMPONENT/RGB IN）端子または、PC IN 端子に接続された信号に合わせて設定します。

……Y, P_B, P_R/Y, C_B, C_R信号

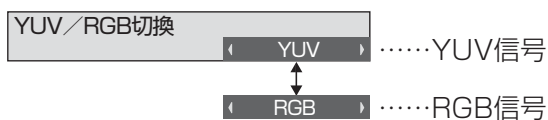
……RGB信号

お知らせ 入力端子（COMPONENT/RGB IN、PC IN）ごとに設定してください。

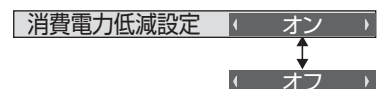
YUV ／ RGB切換

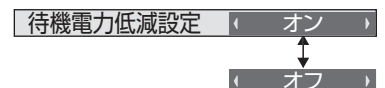
本メニューは、DVI信号入力時に表示されます。DVI入力信号の方式に合わせて設定します。

……YUV信号

……RGB信号

お知らせ
- 入力端子（SLOT、DVI-D IN）ごとに設定してください。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

消費電力低減設定

「オン」にすると本ディスプレイパネルの発光レベル（APL）を抑えて消費電力を低減します。

待機電力低減設定

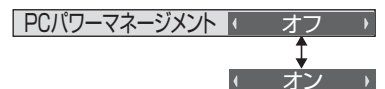
「オン」にすると電源スタンバイのときの消費電力を減らして、待機電力を低減します。

お知らせ 「オン」のときは、「オフ」より電源「入」時に画面が表示するまでに時間がかかることがあります。

PCパワーマネージメント（DPMS機能）

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

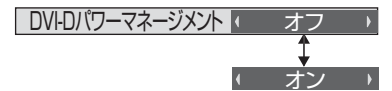
PC IN入力時に約30秒間、映像（HD/VD同期信号）が検知されないとき

➡電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯

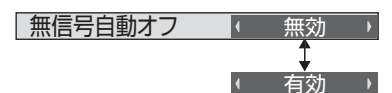
その後、映像（HD/VD同期信号）が検知されると

➡電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ
- PC IN入力時のみ動作します。
- 「信号モード」の「同期」が「オート」、「コンポーネント入力切換」が「RGB」のときのみ動作します。（☞ 40・42ページ）

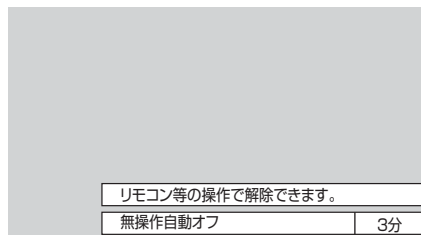
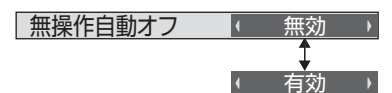
DVI-Dパワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。
DVI入力時に約30秒間、映像（HD/VD同期信号）が検知されないとき
➡電源「切」（スタンバイ） 電源ランプ：橙色点灯
その後、映像（HD/VD同期信号）が検知されると
➡電源「入」 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ
- DVI入力時のみ動作します。
- 本機能はDVI-D端子ボード（TY-FB11DD）およびDual DVI-D端子ボート（3D対応）（TY-FB30DD3D）には対応しておりません。
- 端子ボード（別売オプション）によっては設定できない場合があります。

無信号自動オフ

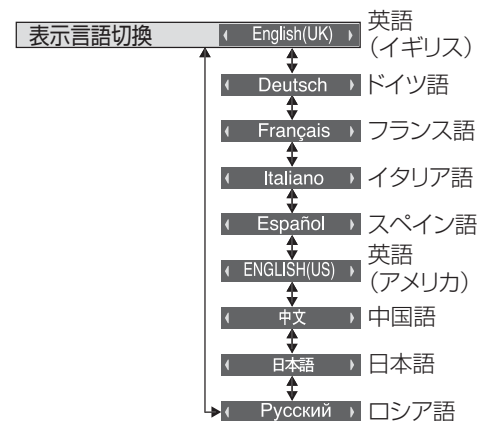
「有効」にすると、約10分間入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約4時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。
電源が切れる3分前から、切れるまでの残り時間を表示します。

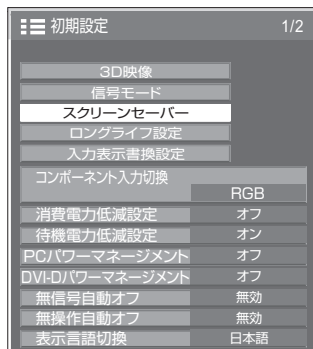
無操作自動オフ　無効 ↔ 有効

本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

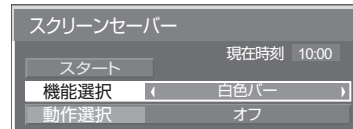
お知らせ　スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。

表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

初期設定（SET UP）

スクリーンセーバー

静止画や4：3 表示画像を長時間映す場合に残像（焼き付き現象）の発生を軽減します。

●「スクリーンセーバー」サブメニュー画面

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 オフ

スクリーンセーバーの設定

■スクリーンセーバーの動作を設定する

「機能選択」で動作したい機能を選択します。

機能選択 白色バー ……**色反転**：白黒反転した映像にして、画面の残像を軽減します。

白色バー：白色バーが一定間隔で画面の左から右側へスクロール表示します。映像はディスプレイに映りません。

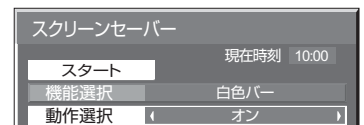
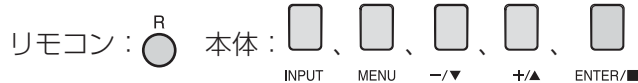
オーバーレイ白色バー：映像を暗くして、その上に白色バーがスクロール表示します。

全白表示：ディスプレイ全面に全白パターンを表示します。

■今すぐスクリーンセーバーをスタートする

①「動作選択」で「オン」を選ぶ。

②「スタート」を選んで ■ を押す。

スクリーンセーバーが開始します。

お知らせ ●スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

●ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

■一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。

②「周期時間」を設定する。

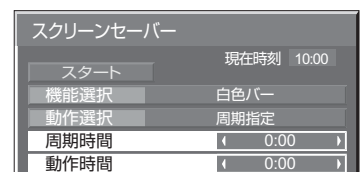
押すたびに15分ずつ変わります。

③「動作時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 周期指定
周期時間 0:00
動作時間 0:00

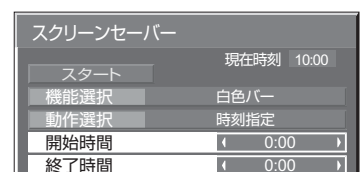
周期時間
動作しない時間 動作時間

お知らせ 動作時間は周期時間より長い時間には設定できません。

■指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

①「動作選択」で「時刻指定」を選択する。

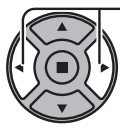
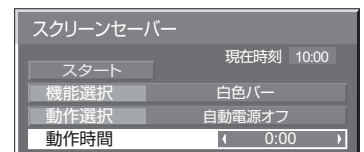
②「開始時間」と「終了時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 時刻指定
開始時間 0:00
終了時間 0:00

お知らせ 現在時刻を設定してから、開始時間と終了時間を設定してください。（☞ 53ページ）

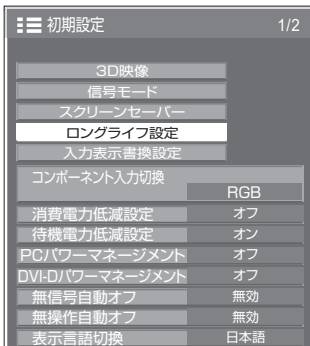
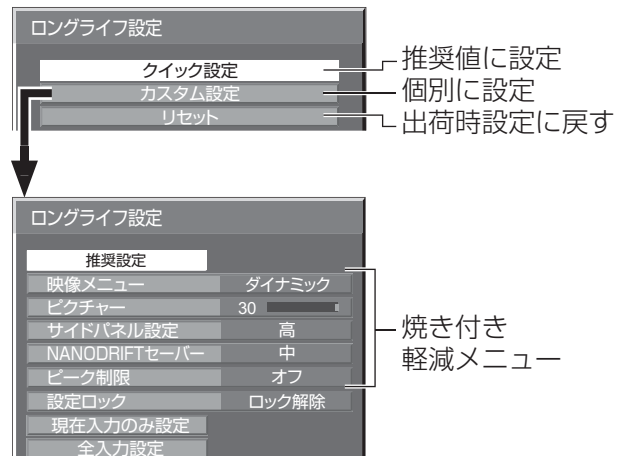
■ スクリーンセーバーの後に電源を切る

①「動作選択」で「自動電源オフ」を選択する。
②「動作時間」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

スクリーンセーバー
現在時刻 10:00
スタート
機能選択 白色バー
動作選択 自動電源オフ
動作時間 0:00

③「スタート」を選んで ■ を押す。
スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。

(お知らせ) 「動作時間」は0:00 ～ 23:59まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

ロングライフ設定

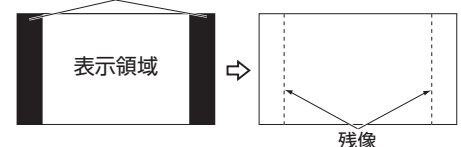
画面の焼き付きを軽減するための各種設定を行います。

●「ロングライフ設定」サブメニュー画面

■ 焼き付き軽減メニュー

「ロングライフ設定」は、次の5つのメニュー（焼き付き軽減メニュー）を推奨値に設定したり、個別に設定できます。

映像メニュー
ピクチャー
「映像メニュー」と「ピクチャー」は「画質の調整」メニューと同じです（☞ 32ページ）。本メニューで設定した内容は「画質の調整」メニューに反映されます。

サイドパネル設定
画面モードを「ノーマル」（映像の横縦比4：3）で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像（焼き付き現象）が発生します。サイドパネルを表示することで残像発生を軽減できます。

暗い部分（サイドパネル）
表示領域
残像

オフ：両端を暗くしておく。
低：暗めの灰色にする。
中：灰色にする。
高：明るめの灰色にする。

(お知らせ) 残像発生の軽減のため「高」にしてご覧になることをおすすめします。

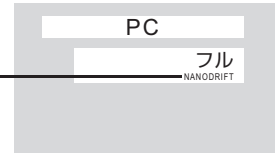
初期設定（SET UP）

NANODRIFTセーバー

画面の表示位置をわずかに移動させて、ディスプレイパネルの焼き付きを軽減します。

弱〜強：NANODRIFTセーバーが動作します。一定の時間間隔で画面の表示位置移動を行います。画面の移動範囲を設定できます。この動作により、画面の一部が欠けて見える場合があります。
設定値を変更すると、位置移動によって画像が欠ける範囲をマスク表示します。

焼き付き軽減機能「NANODRIFT」動作中は「NANODRIFT」と表示します。

PC
フル
NANODRIFT

(お知らせ) 下記の場合には本機能は動作しません。
・「マルチ画面設定」を「オン」に設定しているとき
・「ポートレート設定」を「オン」に設定しているとき
・デジタルズームモード時

ピーク制限

オン：ディスプレイパネルの焼き付き軽減のため、映像コントラスト（ピーク輝度）を抑えます。

(お知らせ) 長い時間、静止画を見ていると画面が少し暗くなることがあります。（☞ 72ページ）

■ クイック設定

焼き付き軽減のメニューを次の推奨値に設定します。また、すべてのメニューにロックが掛かります。

映像メニュー：スタンダード
ピクチャー：機種毎に設定された推奨値
サイドパネル設定：高
NANODRIFTセーバー：中
ピーク制限：オン

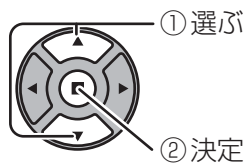
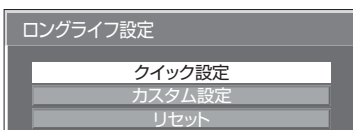
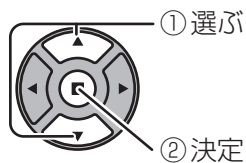
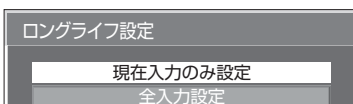
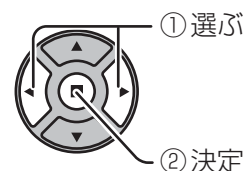
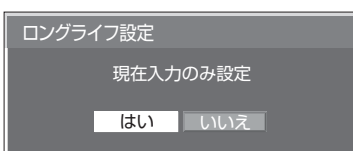
1「クイック設定」を選ぶ。

①選ぶ
②決定

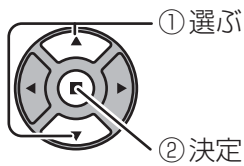
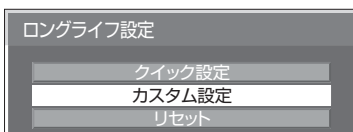
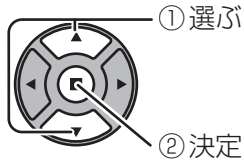
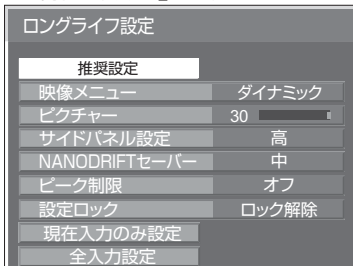
2 設定を保存する入力を選ぶ。

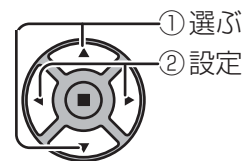
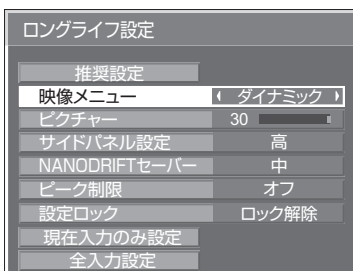
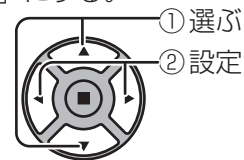
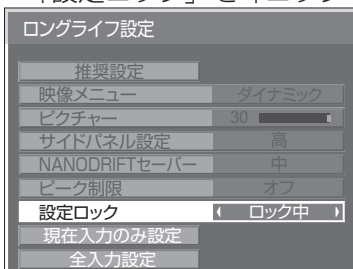
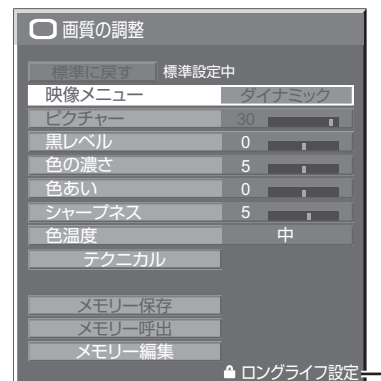
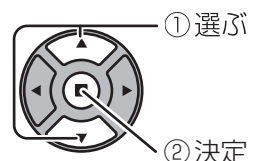
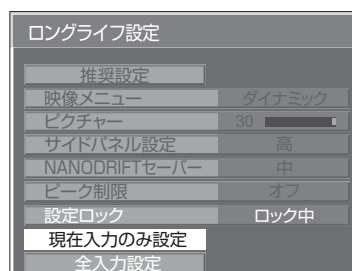
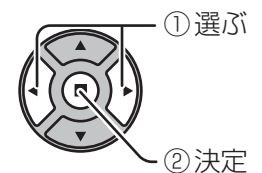
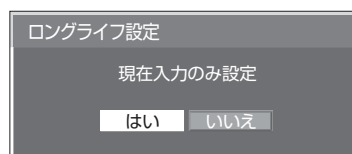
①選ぶ
②決定

3「はい」を選ぶ。

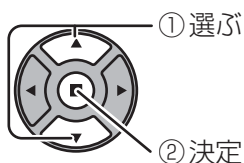
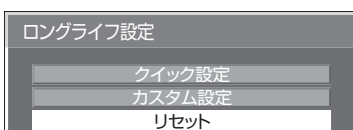
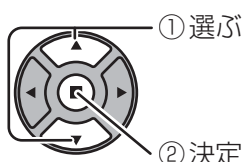
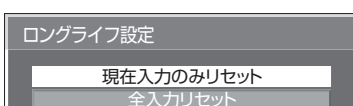
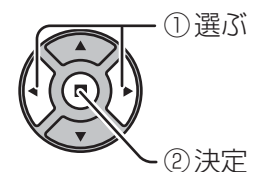
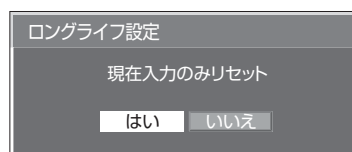
①選ぶ
②決定

■カスタム設定

焼き付き軽減のメニューを個別に設定します。

1「カスタム設定」を選ぶ。

2各メニューを推奨値に設定する場合「推奨設定」を選ぶ。

各メニューは「クイック設定」と同じ設定値になります。

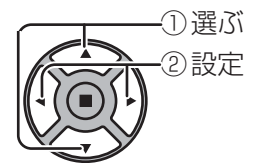
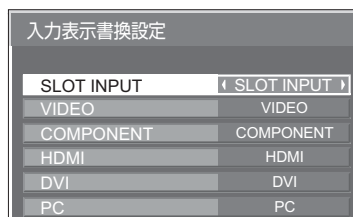
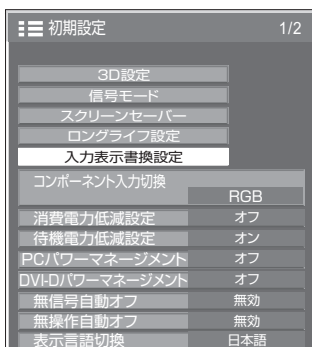
3各メニューを設定する。

4各メニューの設定をロックする場合「設定ロック」を「ロック中」にする。

ロックが掛かると、各メニューはグレー表示になり、設定できなくなります。
「映像メニュー」と「ピクチャー」は、「画質の調整」メニューでも設定できなくなり、ロック設定を示すアイコンが表示されます。
また、「標準に戻す」、「メモリー保存」および「メモリー呼出」もできません。

5設定を保存する入力を選ぶ。

6「はい」を選ぶ。

■リセット

焼き付き軽減のメニューを工場出荷時の状態に戻します。また、各メニューのロックが解除されます。

1「リセット」を選ぶ。

2設定をリセットする入力を選ぶ。

3「はい」を選ぶ。

初期設定（SET UP）

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

入力端子を選び、信号名を設定する。

入力端子	**表示名**
[SLOT INPUT]※1	SLOT INPUT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[VIDEO]	VIDEO / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[COMPONENT]※2	COMPONENT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[HDMI]	HDMI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DVI]	DVI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[PC]	PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

(スキップ)：INPUT を押したときに入力を飛び越して表示します。

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。

※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。
(☞ 42ページ)

2 入力の端子ボードを装着した場合

「SLOT INPUT」は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示され、個別に設定できます。

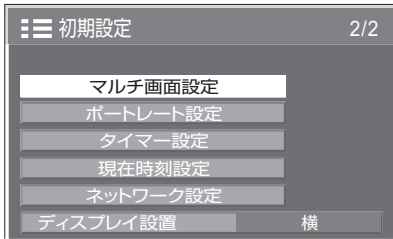
[SLOT INPUT A]	SLOT INPUT A / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[SLOT INPUT B]	SLOT INPUT B / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

固定表示の端子ボードを装着した場合（チューナーボードなど）

「SLOT INPUT」の入力ラベルは固定表示と(スキップ)のみ設定できます。

[SLOT INPUT]　　固定表示 / (スキップ)

マルチ画面設定

横方向に1 ～ 5台と縦方向に1 ～ 5台を並べたプラズマディスプレイを1つのグループとして、拡大した映像を映します。

● 「マルチ画面設定」サブメニュー画面

お知らせ
- マルチ画面設定「オフ」時に画面位置／サイズ調整（☞ 28ページ）で、同一画角に調整後、マルチ画面設定を「オン」にして再度、画面位置／サイズで画角を微調整してください。
- 画面位置／サイズ調整機能は、マルチ画面の状態で調整できます。
- マルチ画面設定を「オン」にするとポートレート設定（☞ 51ページ）はできません。
- マルチ画面時、3D映像は2D映像になります。

■ マルチ画面設定

「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。

■ 横拡大率

マルチ画面表示の横方向の拡大率を設定します。

■ 縦拡大率

マルチ画面表示の縦方向の拡大率を設定します。

例）横拡大率「×5」と縦拡大率「×5」に設定のマルチ画面

■ 目地設定

マルチ画面表示の目地の有無を設定します。

表示例）
「オフ」のとき　「オン」のとき

■ 拡大位置

マルチ画面の画面位置を割り当てます。

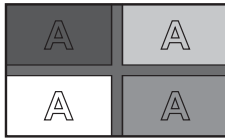
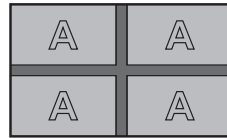
例）横拡大率「×5」、縦拡大率「×5」の場合

A1	A2	A3	A4	A5
B1	B2	B3	B4	B5
C1	C2	C3	C4	C5
D1	D2	D3	D4	D5
E1	E2	E3	E4	E5

拡大位置　A1 …… A1 ～ A5、B1 ～ B5、C1 ～ C5、D1 ～ D5、E1 ～ E5から選ぶ。
- 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。

初期設定（SET UP）

■AI連動

マルチ画面表示を構成するディスプレイ毎の明るさの差を補正し、均一な表示にします。

AI連動	オフ	…… AI連動をしない。（明るさの差を補正しません）
	オン	…… AI連動をする。（明るさの差を補正します）

表示例）

「オフ」のとき

ディスプレイ毎に明るさが異なる

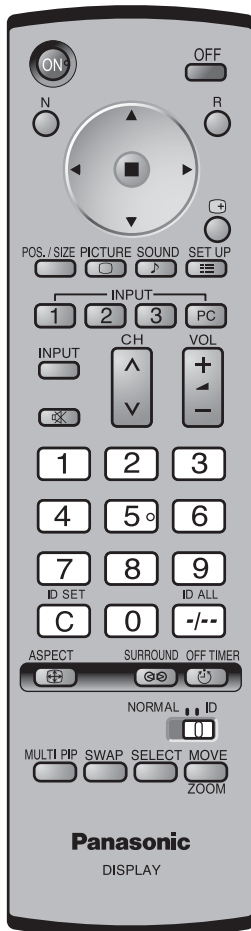
「オン」のとき

明るさが均一になる

お知らせ
- AI連動を「オン」にすると、以下のメニューの調整値は標準値に固定され、設定できません。
  画質の調整： 色の濃さ、色あい、入力レベル（テクニカル）（☞ 32・33ページ）
- 本機能は、VIDEO端子入力時には設定できません。

IDリモコン機能を使う

マルチ画面システムなど複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイ本体を個別に操作することができます。その場合は事前にID selectで設定したディスプレイ本体のID番号とリモコンのID番号を合わす必要があります。以下の手順でリモコンのID番号を設定してください。

お知らせ 本機能をご使用になるには、別売のIDリモコン（品番：EUR7636070R）が必要です。

■リモコンのID番号の設定

1 NORMAL ID をID側（NORMAL ID）にする。

2 ID SET C を押す。

3 1 ～ 9 、0 から選んで押す。（2桁目の番号を設定）

4 1 ～ 9 、0 から選んで押す。（1桁目の番号を設定）

- 手順2 ～ 4は時間を空けずに操作してください。
- 設定できるID番号は0 ～ 99までです。

例） IDを「1」に設定の場合は手順2の後、続けて 0 、1 を押す。
　　IDを「12」に設定の場合は手順2の後、続けて 1 、2 を押す。

- 3桁の番号を押したときは、最初の2桁が有効になります。

■IDリモコンのボタン操作

以外のボタンは通常のリモコンと同じ操作になります。

■リモコンのID番号の設定解除（ID「0」）

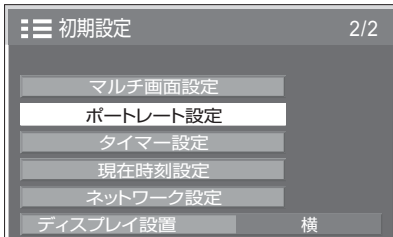
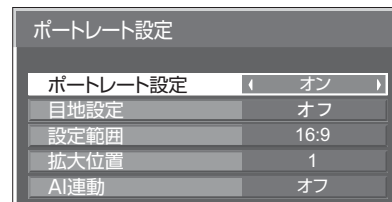
ID selectで設定したID番号と一致しなくても操作できます。

ID ALL -/-- を押す。（ID SET C 、0 、0 を押した時と同じです）

お知らせ
- IDリモコンで操作する場合はRemote IDを「On」にします。（☞ 60ページ）
  オプションメニュー表示中はIDが一致しなくても操作できます。
- ID selectが0以外の設定で、リモコンのID番号がID selectの設定と一致しない場合は、リモコンで操作できません。（☞ 60ページ）

ポートレート設定

縦置きにしたプラズマディスプレイに、入力映像を3分割し、3倍に拡大・90度回転した映像を映します。

ポートレート画面表示例

● **「ポートレート設定」サブメニュー画面**

お知らせ
- ディスプレイを縦置きにしてポートレート機能を使用する場合は、初期設定メニューの「ディスプレイ設置」を「縦」に設定してください。(☞ 55ページ)
- ポートレート設定を「オン」にするとマルチ画面設定（☞ 49ページ）はできません。
- ポートレート時、3D映像は2D映像になります。

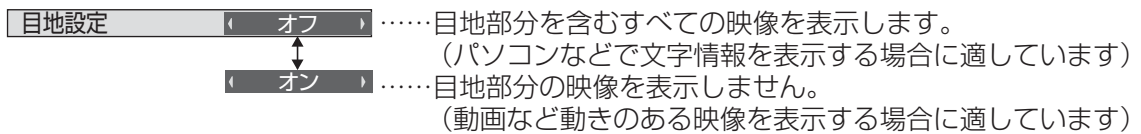
お願い　縦置き設置時は、電源スイッチを上側にして設置してください。

■ ポートレート設定

オフ ……拡大分割画面にしない。
オン ……拡大分割画面にする。

■ 目地設定

ポートレート画面表示の目地の有無を設定します。

オフ ……目地部分を含むすべての映像を表示します。（パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています）
オン ……目地部分の映像を表示しません。（動画など動きのある映像を表示する場合に適しています）

表示例）
「オフ」のとき　「オン」のとき

初期設定（SET UP）

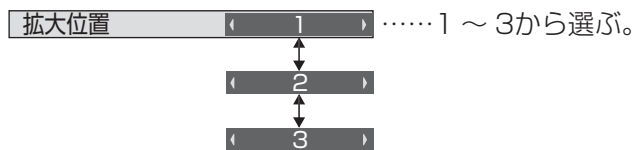
■ 設定範囲

ポートレート画面表示の画像の分割モードを設定します。

設定範囲　16:9　……16:9または4:3を選ぶ。
↕
4:3

お知らせ
- HD信号映像の場合は、「設定範囲」は「16:9」になり、設定はできません。
  HD信号：1125（1080）/ 60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p・24sF、750（720）/ 60p・50p、1250（1080）/ 50i
- 「設定範囲」が「16:9」のときは、画面モード（アスペクト）は「フル」に固定されます。

■ 拡大位置

ポートレート画面で表示する画面位置を割り当てます。

拡大位置設定画面

ポートレート設定「オン」のとき：
指定した拡大位置の映像に切り換わります。

ポートレート設定「オフ」のとき：
指定した拡大位置のみを表示し、
他はグレーマスクがかかります。
例）拡大位置「1」の場合

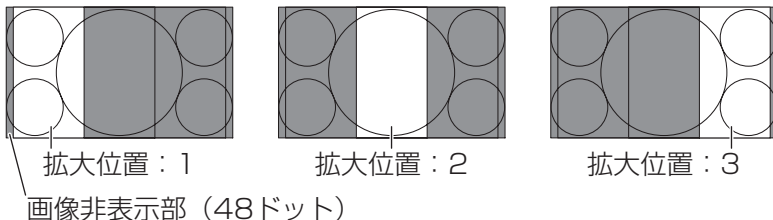
設定範囲と拡大位置

設定範囲の設定により、画像の分割モードと拡大位置は次のようになります。

設定範囲 16:9

拡大位置：1　拡大位置：2　

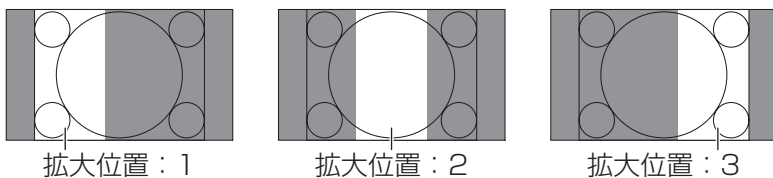
拡大位置：3

画像非表示部（48ドット）

16：9の映像を表示するのに適しています。4：3の映像は横に拡大された画像になります。また、画像の両端が48ドット分カットされます。

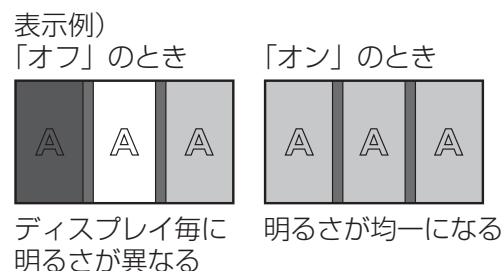
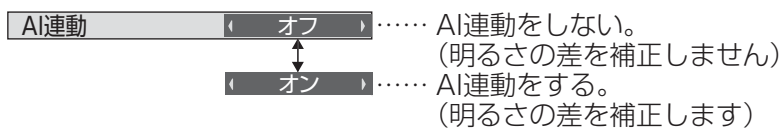
設定範囲 4:3

拡大位置：1

拡大位置：2

拡大位置：3

4：3の映像をそのままの比率で表示します。各拡大位置間で画像に重なりが生じますが、画面位置／サイズの調整で表示位置を調整すると重なりを解消できます。（☞ 28ページ）

■ AI連動

3台のディスプレイに画像を分割表示したときの、ディスプレイ毎の明るさの差を補正し、均一な表示にします。

AI連動　オフ　…… AI連動をしない。（明るさの差を補正しません）
↕
オン　…… AI連動をする。（明るさの差を補正します）

表示例）

「オフ」のとき

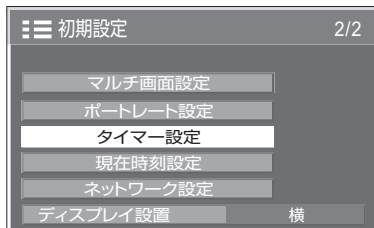
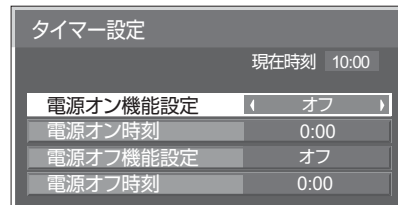
ディスプレイ毎に明るさが異なる

「オン」のとき

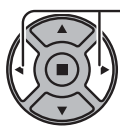
明るさが均一になる

お知らせ
- AI連動を「オン」にすると、以下のメニューの調整値は標準値に固定され、設定できません。
  画質の調整：色の濃さ、色あい、入力レベル（テクニカル）（☞ 32・33ページ）
- 本機能は、VIDEO端子入力時には設定できません。

タイマー設定

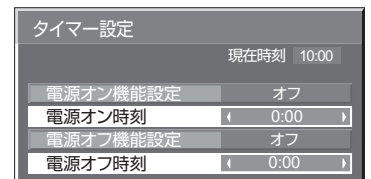
自動的に電源を「入」または「切」にする設定を行います。

●「タイマー設定」サブメニュー画面

■指定した時刻に電源を「入」または「切」にする

①「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を選ぶ。

②「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を設定する。

一度押すと1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

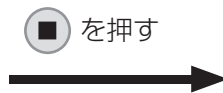
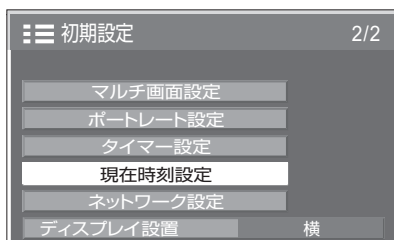
③「電源オン機能設定」または「電源オフ機能設定」を選ぶ。

④「オン」に設定する。

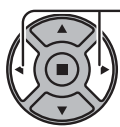
お知らせ　現在時刻を設定してから、タイマー設定をしてください。（☞ 下記）

現在時刻設定

曜日と現在時刻を設定します。（「99：99」と表示されている場合は、未設定となっています。）

●「現在時刻設定」サブメニュー画面

現在時刻設定
現在時刻 MON 99:99
設定
曜日 MON
現在時刻 99:99

■曜日と現在時刻を設定する

①「曜日」または「現在時刻」を選ぶ。

②「曜日」または「現在時刻」を設定する。

一度押すと、現在時刻は1分ずつ変わります。
押し続けると15分ずつ変わります。

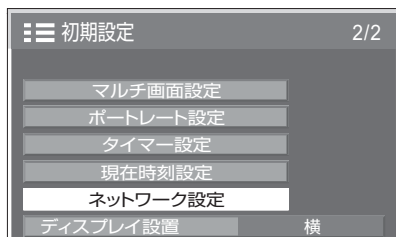
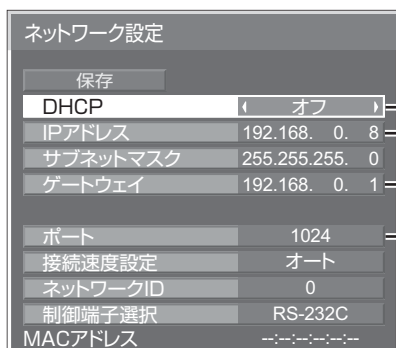
③「設定」を選んで ■ を押す。

お知らせ

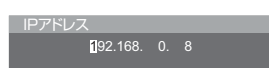
- 現在時刻を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 曜日および現在時刻の設定は、下記の場合にリセットされます。
  - ・本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約7日間放置したとき。
- 現在時刻を「99：99」以外に設定しないと、曜日と現在時刻の設定はできません。

初期設定（SET UP）

ネットワーク設定

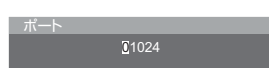
ネットワーク機能を使用するための各種設定を行います。

DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定

1 DHCPを設定する。
「オフ」を選ぶとIPアドレス他を手動で設定できます。

2 設定項目を選んで ■ を押す。

3 アドレスを入力する。
①◀▶で桁を選ぶ
②▲▼で数字を変更する
③■ を押す。
R を押すとアドレスの変更をキャンセルします。

4「保存」を選んで ■ を押す。

ポートの設定

1「ポート」を選んで ■ を押す。

2 ポート番号を入力する。
①◀▶で桁を選ぶ
②▲▼で数字を変更する
③■ を押す。
R を押すとポート番号の変更をキャンセルします。

■ 保存
現在のネットワーク設定を保存します。 DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの各設定値が保存されます。
「NG」と表示された場合、同じネットワーク内で同一のIPアドレスが使用されていないかご確認ください。

■ DHCP（DHCPクライアント機能）
DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合は「オン」にします。DHCPサーバーを利用しない場合は「オフ」にします。

■ IPアドレス（IPアドレスの表示および設定）
DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

■ サブネットマスク（サブネットマスクの表示および設定）
DHCPサーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

■ ゲートウェイ（ゲートウェイアドレスの表示および設定）
DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

■ ポート
コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。設定できる範囲は1024 ～ 65535です。
PJLink™プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

■ 接続速度設定
LAN環境の接続速度を設定します。設定値は、オート、10BASE半二重、10BASE全二重、100BASE半二重、100BASE全二重から選択します。

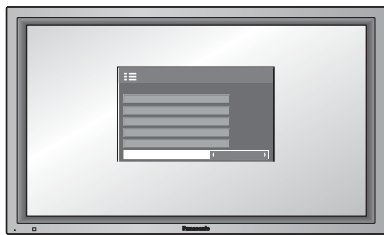
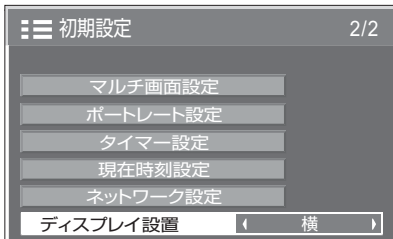
■ ネットワークID
本機を識別するIDを設定します。
設定できる範囲は0 ～ 99です。

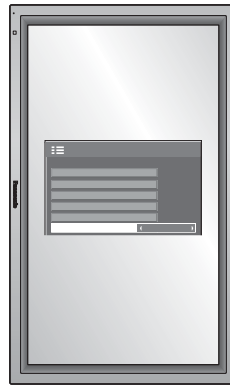
■ 制御端子選択
RS-232C（シリアル）で制御するか、LANで制御するかを設定します。「LAN」に設定すると、「Slot power」の設定に関わらずスロット電源に電源供給され、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）、電源ランプが橙色点灯します。（☞ 61ページ）

■ MACアドレス
本機のMACアドレスを表示します。ただし、「制御端子選択」が「RS-232C」のときは、MACアドレスは表示されません。

お知らせ
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- 詳しい設定内容については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ディスプレイ設置

縦置き設置時のファンの制御やパネルの駆動制御、およびオンスクリーンメニューの表示方法を設定します。

横

横置き用のファン制御およびパネル駆動制御になります。

縦

縦置き用のファン制御およびパネル駆動制御になります。
オンスクリーンメニューが反時計方向に 90 度回転表示し、縦置き設置時に表示が見やすくなります。

お願い 縦置き設置時は、電源スイッチを上側にして設置してください。

お知らせ 本設定を切り替えた場合、次回電源を入れたときにファン制御およびパネル駆動制御は切り替わります。

オプション（Options）メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

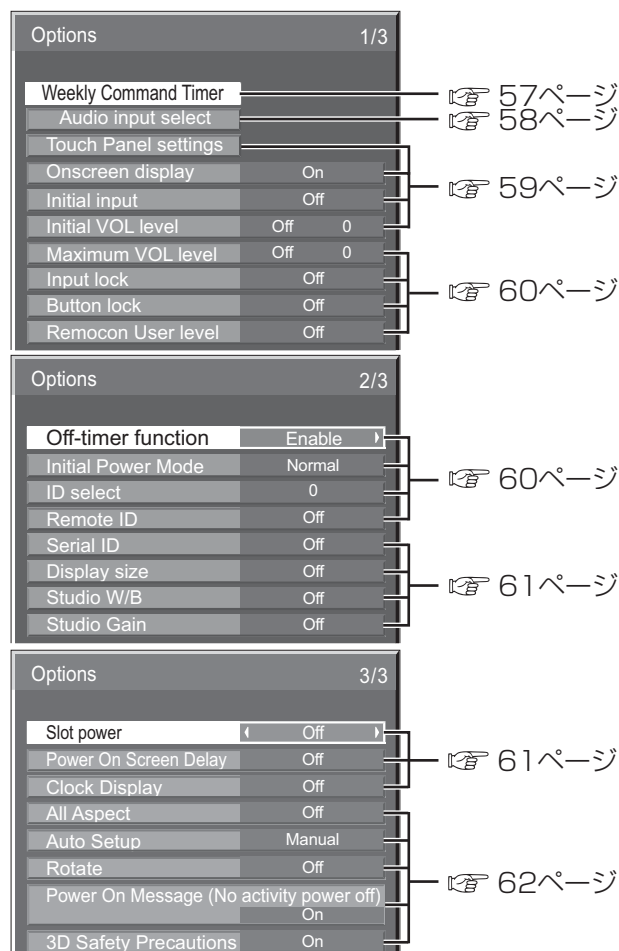
1 SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。

2 ①押して「表示言語切換」を選択する。
②3秒以上押す

3 ①押して「Options」を選択する。
②押して「Options」メニューを表示する。

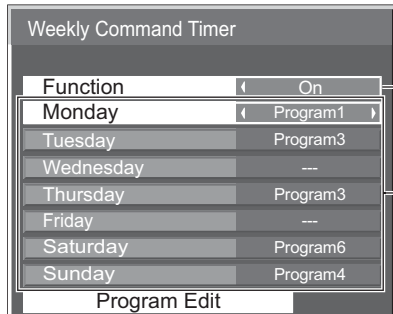
4 ①押して設定項目を選択する。
②押して設定する。
「Weekly Command Timer」、「Audio input select」または「Touch Panel settings」を選び、■ を押すと設定画面になります。(☞ 57 ～ 59ページ)

5 SET UP 押して設定を終了する。

● **Optionsメニュー画面**

お知らせ
- 「オプション（Options）」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体の操作ボタンではできません。
- R を押すと1つ前の画面に戻ります。
- ボタン操作をしないと約60秒後に元の画面へ戻ります。
- オプションメニューの言語は英語表示のみです。

Weekly Command Timer（ウィークリーコマンドタイマー）

曜日ごとにプログラム設定（時刻、コマンド）されたタイマー制御ができます。
●曜日と現在時刻を設定してから、ウィークリーコマンドタイマーを設定してください。（☞ 53ページ）

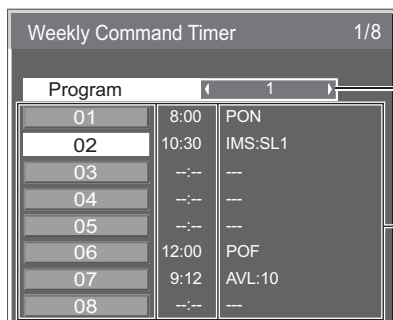
■ウィークリーコマンドタイマーの使用と各曜日ごとのプログラムを選択します。

1 ウィークリーコマンドタイマーを使うとき
▲▼で「Function」を選び、◀▶で「On」に設定する。

2 各曜日ごとにプログラムを選択する
▲▼で曜日を選び、◀▶でプログラム番号を選ぶ。
プログラム番号はProgram1 ～ 7まで設定できます。---は未設定です。

お知らせ 「Function」を「On」に設定すると、タイマー設定（☞ 53ページ）およびスクリーンセーバー（☞ 44ページ）の「周期指定」「時刻指定」は無効になります。

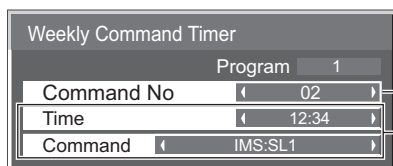
▲▼で「Program Edit」を選び、■を押す。

■プログラム番号ごとのプログラム内容を表示します。

1プログラム64コマンド番号までの設定ができます。

1 表示させたいプログラム番号を選択する
▲▼で「Program」を選び、◀▶でプログラム番号（1 ～ 7）を切り換える。

コマンド番号ごとの設定内容
--:--、---は時刻、コマンドが未設定です。

2 確認したいコマンド番号を選択する
①▲▼でコマンド番号を選ぶ。◀▶でページ切り換えができます。
②コマンドの設定をするときは■を押す。

■コマンド番号ごとにタイマー時刻とコマンドの設定をします。

1 設定したいコマンド番号を選択する
①▲▼で「Command No」を選ぶ。
②◀▶でコマンド番号を選ぶ。

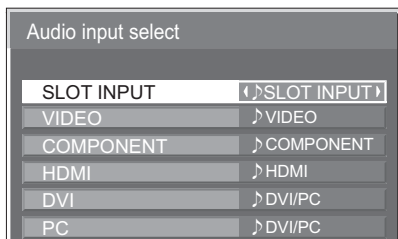
2 タイマー時刻、コマンドを設定する
①▲▼で「Time」または「Command」を選ぶ。
②◀▶で設定する。
Time：◀▶を1度押すと1分ごとに変化します。押し続けると15分ごとに変化します。
Command：本機には、あらかじめ設定された64種類の内蔵コマンドがあります（☞ 69ページ）。「Time」で設定した時刻に実行するコマンドを選んでください。

お知らせ R を押すと1つ前の画面に戻ります。

お知らせ
●コマンド番号に関係なく、設定した時刻順にコマンドを実行します。
●同じ時刻に複数のコマンドを設定した場合は、コマンド番号順に実行します。
●N を押すと「Time」は--:--、「Command」は---になります。

オプション（Options）メニュー

Audio input select（音声入力選択）

映像入力を選んだときの音声を設定します。

入力端子を選び､音声入力を設定する。

入力端子	音声入力
[SLOT INPUT]※1	SLOT INPUT / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[VIDEO]	SLOT INPUT / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[COMPONENT]※2	SLOT INPUT / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[HDMI]	SLOT INPUT / VIDEO / COMPONENT / HDMI / DVI/PC / NO AUDIO
[DVI]	SLOT INPUT / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[PC]	SLOT INPUT / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO

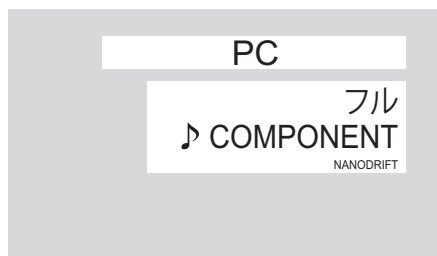
DVI/PC：DVIとPC共用の音声入力
NO AUDIO：音声入力なし（ミュート）

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。
（☞ 42ページ）

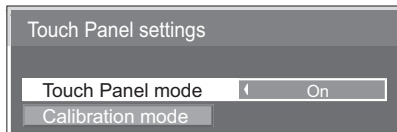
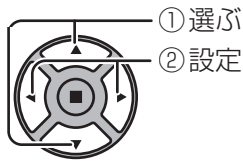
2 入力の端子ボードを装着した場合

「SLOT INPUT」は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示され、個別に設定できます。
他の入力端子を設定する場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」を選べます。

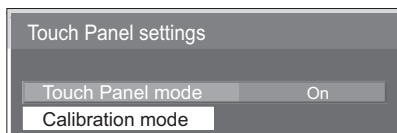
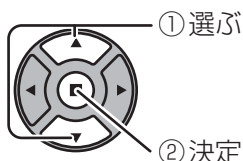
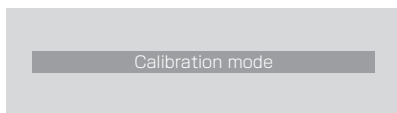
入力端子	音声入力
[SLOT INPUT A]	SLOT INPUT A / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[SLOT INPUT B]	SLOT INPUT B / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[VIDEO]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[COMPONENT]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[HDMI]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / VIDEO / COMPONENT / HDMI / DVI/PC / NO AUDIO
[DVI]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO
[PC]	SLOT INPUT A / SLOT INPUT B / VIDEO / COMPONENT / DVI/PC / NO AUDIO

映像入力と音声入力が異なる場合は、下のように音声入力が表示されます。

お知らせ
- HDMI音声は、HDMI入力のときのみ選べます。
- SLOT INPUT A 入力にBの音声、またはSLOT INPUT B 入力にAの音声は設定できません。
- SLOTにチューナーボードが装着されている場合、SLOT INPUT以外の入力の時は、SLOT INPUTの音声は出力されません。

Touch Panel settings（タッチパネル使用時の設定）

光学式タッチパネル（別売）使用時に、NANODRIFTセーバー（☞ 46ページ）の動作を制限するモードを設定します。

「Touch Panel mode」を「On」に設定する。

Touch Panel mode：On時のNANODRIFTセーバー
NANODRIFT設定値は「オン」になり、グレー表示します。
NANODRIFTの移動量を5×5ドットに制限し、タッチパネルのポインタずれを防止します。

■Calibration mode（キャリブレーションモード）

タッチパネルのキャリブレーションをするときに設定します。
「Touch Panel mode」が「On」のときに設定できます。

「Calibration mode」を選び ■ を押す。

メニュー表示がないとき（通常画面）
N を3秒以上押す。

画面の表示位置が中央になり、NANODRIFTの動作が180秒間停止します。180秒後またはリモコンでメニュー表示をすると、キャリブレーションモードは解除されます。

お知らせ
キャリブレーションの設定方法については、タッチパネルの取扱説明書をご覧ください。

Onscreen display（オンスクリーン表示）

電源オン表示、入力切換表示、無信号表示、メニュー画面表示後の消音表示、RECALL を押した後の消音とオフタイマー残り時間表示、オフタイマー 3分前の残時間表示を行わなくすることができます。

設定値 **On**：表示にします。
Off：非表示にします。

Initial input（スタート入力設定）

電源「入」時の入力を設定します。

設定値 **Off、PC 、SLOT INPUT※1、VIDEO、COMPONENT※2、HDMI、DVI**

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（☞ 42ページ）

お知らせ
「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。（☞ 60ページ）

Initial VOL level（スタート音量設定）

電源「入」時の音量を設定します。

設定値 **Off**：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

（メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します）

■音量の設定

VOL − + を押して音量を調整します。

お知らせ
「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。（☞ 下記参照）

オプション（Options）メニュー

Maximum VOL level（最大音量設定）

音量を設定以上に大きくならないようにします。

設定値　Off：通常の音量になります。
On：設定した音量になります。

（メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します）

■音量の設定

VOL − ＋ を押して音量を調整します。

お知らせ

「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

Input lock（入力切換固定）

入力を固定して「入力切換」操作をできなくします。

設定値　Off、PC 、SLOT INPUT※1、VIDEO、COMPONENT※2、HDMI、DVI

※1「SLOT INPUT」は、端子ボード装着時に表示されます。
2入力の端子ボードを装着している場合は「SLOT INPUT A」および「SLOT INPUT B」と表示されます。

※2「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（☞ 42ページ）

お知らせ

「Off」以外に設定すると、すぐに入力切換操作ができなくなります。

Button lock（ボタン操作制限）

本体底面のボタン操作を制限します。

設定値　Off：ボタン操作を制限しません。
MENU & ENTER：MENU と ENTER/■ 操作はできません。
On：すべてのボタン操作はできません。

Button lockは、次の手順で本体のボタンを操作して設定できます。

Off：+/▲ を4回押す→ INPUT を4回押す→ −/▼ を4回押す→ ENTER/■ を押す

MENU & ENTER：

ENTER/■ を4回押す→ +/▲ を4回押す→ INPUT を4回押す→ ENTER/■ を押す

On：−/▼ を4回押す→ ENTER/■ を4回押す→ +/▲ を4回押す→ ENTER/■ を押す

Remocon User level（リモコン操作制限）

リモコンのボタン操作を制限します。

設定値　Off　：ボタン操作を制限しません。
User1：⏻、INPUT、RECALL、MUTE、VOL − ＋ 以外のボタン操作はできません。
User2：⏻ 以外のボタン操作はできません。
User3：すべてのボタン操作はできません。

Off-timer function（オフタイマー機能）

オフタイマー機能を有効/無効の設定をします。

設定値　Enable　：オフタイマー機能を有効にします。
Disable　：オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Initial Power Mode（電源復帰モード）

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

設定値　Normal：電源が切れる前の状態で復帰します。
Standby：電源「スタンバイ」の状態で復帰します（電源ランプ：赤色/橙色点灯）。
On　：電源「入」の状態で復帰します（電源ランプ：緑色点灯）。

お知らせ

本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「Standby」に設定されることをおすすめします。

ID select（ID番号選択）

「Remote ID」「Serial ID」でディスプレイ本体（パネル）の制御を行うときのID番号（パネル番号）を設定します。

設定値　ID select：設定値：0 ～ 100。（標準値：0）

お知らせ

IDリモコン機能を使い「0」に設定の場合は、リモコンのID番号と一致しなくても操作できます。

Remote ID（リモコンID）

IDリモコン機能を有効/無効の設定をします。

設定値　Off：IDリモコン機能を無効にします。（通常のリモコンとして操作ができます）
On：IDリモコン機能を有効にします。
「On」に切り換えと同時に有効になります。

お知らせ

IDリモコン機能を使うときは、リモコンのID番号とディスプレイ本体のID番号の設定が必要です。リモコンのID番号の設定は（☞ 50ページ）、ディスプレイ本体のID番号は上記（ID select）をご覧ください。

Serial ID（シリアルID）

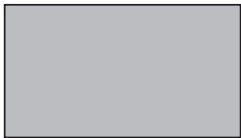
SERIAL（シリアル）端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイのID番号（パネルID）により制御する設定をします。

設定値 Off：IDによる外部制御を無効にします。
On：IDによる外部制御を有効にします。

Display size（画面表示領域設定）

画面の映像表示領域の設定をします。

設定値 Off：通常の映像表示領域にします。
On：映像表示領域を通常の約95%にして映像端が確認できます。

「Off」のとき全域表示

「On」のとき画角の95%領域表示

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
  NTSC、PAL、SECAM、M.NTSC、PAL60、PAL-M、PAL-N（ビデオ）
  525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p、1125/60i、1125/50i、1125/24sF、1125/25p、1125/24p、1125/60p、1125/50p、1125/30p、1250/50i（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI、SDI、HDMI）
  （DVI、SDI、HDMIの対応信号は各ボードの説明書を参照ください。）
- デジタルズーム、マルチ画面、ポートレート画面では、この設定は有効になりません。
- 「On」に設定して画面表示中は画面位置／サイズの調整は水平位置、垂直位置のみできます。

Studio W/B（スタジオW/B）

スタジオW/Bの設定をします。

設定値 Off：設定が無効になります。
On：テレビスタジオ用の色温度にします。

お知らせ

「画質の調整」の「色温度」が「低」のときに有効になります。

Studio Gain（スタジオゲイン）

画像の明るい部分が白くつぶれて見える場合（白つぶれ）に、コントラストを高めて見やすい映像にします。

設定値 Off：スタジオゲイン機能を無効にします。
On：スタジオゲイン機能を有効にします。（白つぶれを解消します）

- 設定が有効になる信号は以下の通りです。
  コンポーネント（色差）ビデオ、RGB（アナログ）、SDI、HDMI

Slot power（スロット電源）

スロット電源への電源供給の設定を行います。（「On」または装着ボードにより、スロットに電源供給される時…電源「スタンバイ」時は電源ランプ橙色点灯）

設定値 Off：電源供給はしません
Auto：電源「入」時に電源供給します。
電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」時は電源供給しません。
On：電源「入」時、電源「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）時に電源供給します。（機能動作を保持する必要のあるボードを装着のとき）

お知らせ

装着されるボードによっては設定に関わらず電源「入」時と「スタンバイ」状態（リモコンで電源「切」）時に電源供給されます。

Power On Screen Delay（起動遅延制御）

マルチ画面システムなどで複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。各ディスプレイごとに設定してください。

設定値 Off：電源「入」と同時に電源が入ります。
1…30：遅延時間（秒）を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

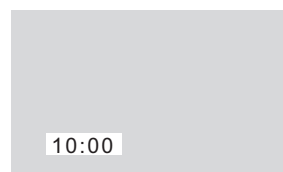
お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。スタンバイ時のスロット電源供給時に電源プラグを抜き差しすると、スロットへの電源供給が遅延動作します。その時、電源ランプは赤色点灯後、電源供給とともに橙色点灯します。

Clock Display（時計表示設定）

時計表示の表示/非表示を設定します

設定値 Off：時計を表示しません。
On：時計を表示します。

10:00

時計表示は、RECALL を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。

お知らせ

現在時刻が未設定の場合、「Clock Display」を「On」に設定しても時計は表示されません。（☞ 53ページ）

オプション（Options）メニュー

All Aspect（全画面モード設定）

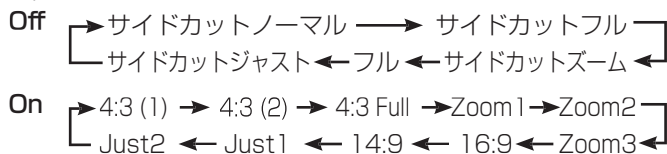
ASPECT を押したときの画面モード切換パターンを工場出荷時の仕様から全画面モード切換仕様に設定します。

設定値　Off：工場出荷時の画面モード切換仕様
On：全画面モード切換仕様

「All Aspect」の設定を切り換えると、画面モードは次のようになります。

例）HD信号入力の場合

Off　→サイドカットノーマル → サイドカットフル → サイドカットズーム → フル → サイドカットジャスト →（サイドカットノーマルに戻る）

On　→4:3 (1) → 4:3 (2) → 4:3 Full → Zoom1 → Zoom2 → Zoom3 → 16:9 → 14:9 → Just1 → Just2 →（4:3 (1)に戻る）

Auto Setup（自動位置補正）

「画面位置／サイズ」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

設定値　Manual：リモコンの AUTO SETUP を押したときや「画面位置／サイズ」メニューで自動位置補正を実行したときに動作する。
Auto　：リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。
- ●ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- ●入力信号が切り換わったとき

Rotate（映像回転）

映像回転表示機能の設定をします。

設定値　Off：映像を回転しない。
On：映像を180度回転します。

お知らせ　映像回転時、3D映像は2D映像になります。

Power On Message（無操作自動オフ警告メッセージ）

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示／非表示を設定します。

設定値　On：電源「入」時に警告メッセージを表示します。
Off：電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

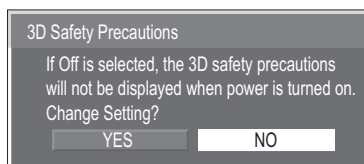
本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。（☞ 43ページ）

3D Safety Precautions（3D警告メッセージ）

電源ON時の3D警告メッセージの表示／非表示を設定します。

設定値　On：電源ON毎に3D警告メッセージを表示します。
Off：電源ON時に3D警告メッセージを表示しません。

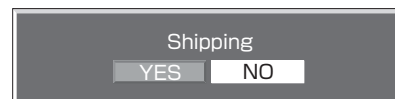
「On」から「Off」に設定する場合、下の確認画面が表示されます。「YES」を選ぶと設定が切り換わります。

3D Safety Precautions
If Off is selected, the 3D safety precautions will not be displayed when power is turned on.
Change Setting?
YES　NO

ボタン操作制限、リモコン操作制限、リモコンIDの設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Remocon User level」「Remote ID」の設定を行ない、リモコンと本体底面のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体底面のボタン −/▼ とリモコン R を同時に5秒以上押す

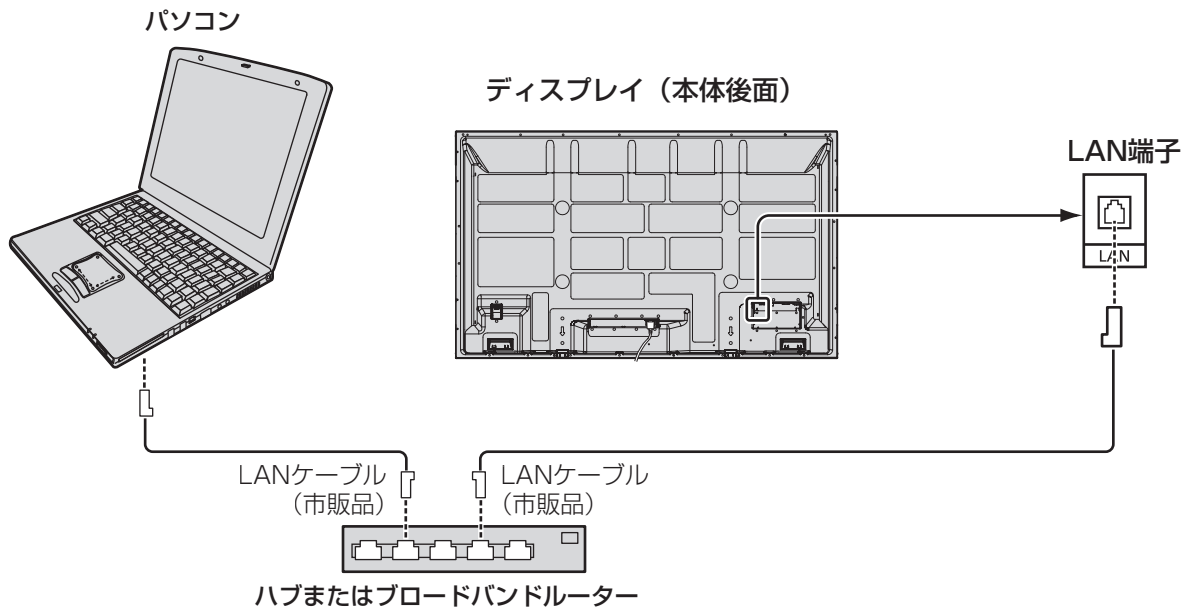
「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。

Shipping
YES　NO

- 「Button lock」「Remocon User level」「Remote ID」の設定が「Off」に戻ります。

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

お知らせ　ネットワーク機能をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行い、「制御端子選択」を必ず「LAN」に設定してください。(☞ 54ページ)
「LAN」に設定すると、「Slot power」の設定に関わらずスロット電源に電源供給され、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ)、電源ランプが橙色点灯します。(☞ 61ページ)

ネットワーク接続例

お知らせ
- LANケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- LANケーブルは他の接続ケーブル（電源コードを除く）から離して配線してください。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
- 100BASE-TX用の機器を接続する場合は、「カテゴリ5」のLANケーブルをご使用ください。
- 静電気を帯びた手（体）でLAN端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。
LAN 端子及びLAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(☞ 15ページ)

お知らせ　詳しい使用方法が必要な場合は、販売店にご相談ください。

ネットワーク機能を使う

PJLink™プロトコル

本機のネットワーク機能はPJLink™クラス1 に対応しており、PJLink™プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink™プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備　考
POWR	電源制御	パラメータ 0 = スタンバイ　　1 = 電源「入」
POWR?	電源状態問い合わせ	パラメータ 0 = スタンバイ　　1 = 電源「入」
INPT	入力切り換え	パラメータ ※ コマンドINST?のパラメータを参照。
INPT?	入力切換問い合わせ	
AVMT	シャッター制御	パラメータ 10 = 映像オン (映像ミュート解除), 11 = 映像オフ (映像ミュート) 20 = 音声オン (音声ミュート解除), 21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31 = シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
AVMT?	シャッター制御問い合わせ	パラメータ 11 = 映像オフ (映像ミュート)　21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31 = シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ	パラメータ 1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 または 2 のいずれか 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 のいずれか 0 ～ 2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない, 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ	未対応になります
INST?	入力切換一覧問い合わせ	パラメータ ※11 ～ 13の数字はスロット装着状態により異なる 11: PC IN入力（PC） 1入力の端子ボード装着時： 11: SLOT入力（SLOT INPUT） 12: PC IN入力（PC） 2入力の端子ボード装着時： 11: SLOT入力（SLOT INPUT A） 12: SLOT入力（SLOT INPUT B） 13: PC IN入力（PC） 21: VIDEO入力（VIDEO） 22: COMPONENT/RGB IN入力(COMPONENT) 31: HDMI入力（HDMI） 32: DVI-D IN入力（DVI）
NAME?	プロジェクター名問い合わせ	空文字を応答します (名前情報がありません)
INF1?	メーカー名問い合わせ	“Panasonic”と応答します
INF2?	機種名問い合わせ	“TH-60PF30”と応答します (60インチモデルの場合)
INFO?	その他情報問い合わせ	バージョン番号を応答します
CLSS?	クラス情報問い合わせ	“1”と応答します

PJLink™セキュリティ認証

PJLink™のパスワードには“Panasonic”を設定してください。

- PJLink™は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。
  PJLink™に関する仕様については（社）ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。
  URL http://pjlink.jbmia.or.jp/

WEB ブラウザコントロールを使う

WEBブラウザを使用して、本機の制御、ネットワーク設定、パスワード設定ができます。

WEBブラウザコントロールを使う前に

WEBブラウザコントロールを使うためには、本機の設定とパソコンの設定が必要になります。

■本機の設定

本機の「ネットワーク設定」で各設定を行い、「制御端子選択」を必ず「LAN」に設定してください。（☞ 54ページ）

■パソコンの設定

プロキシサーバーの設定を解除し、JavaScriptを有効にしてください。

（Windows）

プロキシサーバーの設定を解除する

1 [インターネットのプロパティ]ウィンドウを表示する。
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [インターネットオプション] をクリックする。
2 [接続]タブの[LANの設定]をクリックする。
3 [自動構成スクリプトを使用する]と[LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外す。
4 [OK]をクリック

JavaScriptを有効にする

1 [インターネットのプロパティ]ウィンドウを表示する。
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [インターネットオプション] をクリックする。
2 [セキュリティ]タブのセキュリティレベルを[既定のレベル]にする。または[レベルのカスタマイズ]から[アクティブスクリプト]を有効にする。

（Macintosh）

プロキシサーバーの設定を解除する

1 [Safari]メニューの[環境設定...]をクリックする。
「設定」画面が表示されます。
2 [詳細]タブの[プロキシ]の[設定を変更...]をクリックする。「プロキシ」をクリックし、プロキシサーバーを設定してください。
3 [web プロキシ]と[自動プロキシ]のチェックを外す。
4 [今すぐ適用]をクリックする。

JavaScriptを有効にする

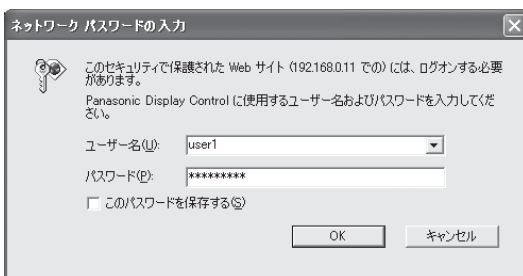
1 Safariの[セキュリティ]を表示する。
2 [web コンテンツ]の[JavaScript を有効にする]にチェックを入れる。

WEBブラウザからのアクセス

WEBブラウザを使用して、WEBブラウザコントロールのTOP画面にアクセスします。

1 WEBブラウザを起動させる。
2 本機の「ネットワーク設定」で設定したIPアドレスを入力する。（☞ 54ページ）

3 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力する。

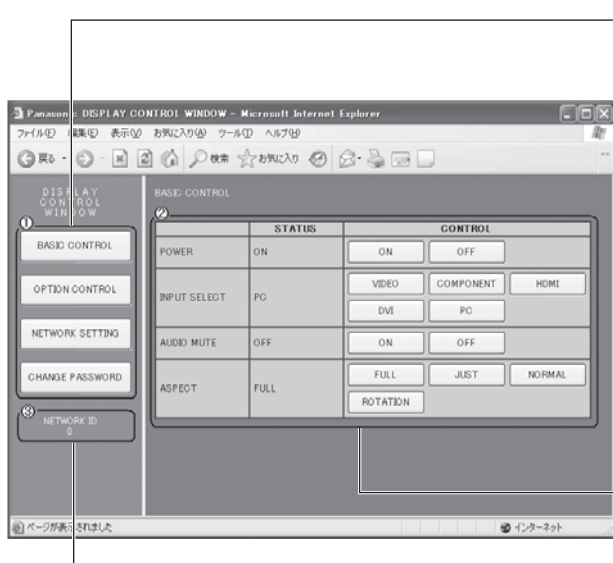
認証画面

4「OK」をクリックする。
ログイン後、WEB ブラウザコントロールの TOP 画面が表示されます。（☞ 66 ページ）

お知らせ

- ここで使用するパスワードは、コマンドコントロール、PJLinkTM セキュリティ認証で使用するパスワードと共通です。
- 出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。
ユーザー名：user1
パスワード：Panasonic
- パスワードはログイン後、パスワード設定画面で変更できます（☞ 67 ページ）。ユーザー名は、変更できません。
- パナソニック株式会社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。
直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

WEB ブラウザコントロールを使う

■WEBブラウザコントロールのTOP画面構成

ログイン後、WEBブラウザコントロールのTOP画面が表示されます。

① **メニュー**
メニュー項目が表示されます。ボタンをクリックすると、各項目の設定画面が表示されます。

項目	説明
BASIC CONTROL	BASIC CONTROL画面が表示されます。(☞ 下記)
OPTION CONTROL	OPTION CONTROL画面が表示されます。(☞ 下記)
NETWORK SETTING	ネットワーク設定画面が表示されます。(☞ 67ページ)
CHANGE PASSWORD	パスワード設定画面が表示されます。(☞ 67ページ)

② メインメニューで選択した項目に従い、設定状態や設定項目が表示されます。

③ **ネットワークID情報**
本機を識別するIDが表示されます。

ディスプレイの制御（BASIC CONTROL / OPTION CONTROL画面）

メニューの「BASIC CONTROL」または、「OPTION CONTROL」をクリックしてください。本機の各種制御を行うことができます。

■BASIC CONTROL画面

メニューの「BASIC CONTROL」をクリックしてください。本機の状態と、設定変更のためのボタンが表示されます。

	STATUS	CONTROL
POWER	ON	ON OFF
INPUT SELECT	PC	VIDEO COMPONENT HDMI DVI PC
AUDIO MUTE	OFF	ON OFF
ASPECT	FULL	FULL JUST NORMAL ROTATION

項目	説明
POWER	本機の電源「ON」「OFF」を切り換えます。
INPUT SELECT	入力信号を切り換えます。映像機器の接続状態によって、ボタン表示が変わります。
AUDIO MUTE	音声ミュートの「ON」「OFF」を切り換えます。
ASPECT	画面モードを切り換えます。

■OPTION CONTROL画面

メニューの「OPTION CONTROL」をクリックしてください。本機をコマンド制御するためのコマンド入力欄が表示されます。

項目	説明
COMMAND	コマンドを入力します。シリアル制御で使用しているコマンドと同じコマンドを使います。(☞ 15ページ)
RESPONSE	本機からの応答が表示されます。
SEND	コマンドが送信され、実行されます。

お知らせ
- 設定変更後、ディスプレイの状態が表示されるまでに、時間がかかる場合があります。

ネットワーク設定（ネットワーク設定画面）

メニューの「NETWORK SETTING」をクリックしてください。ネットワークの各種設定を行うことができます。設定項目の詳しい内容については、本機の「初期設定」の「ネットワーク設定」を確認してください。（☞ 54ページ）

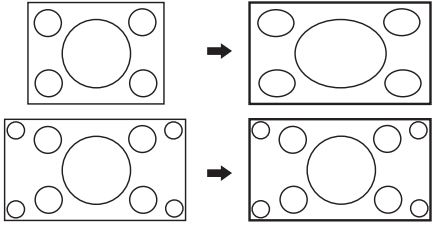
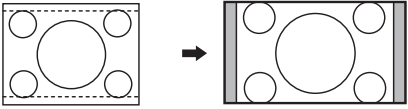
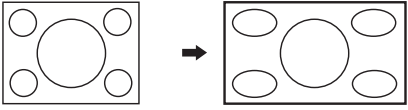
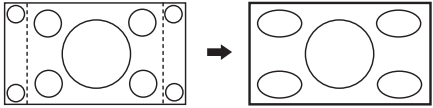
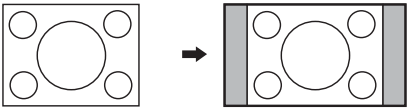
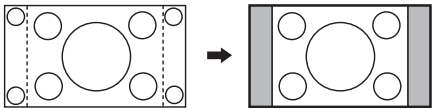
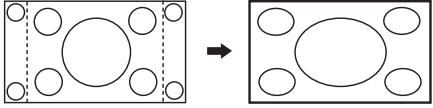
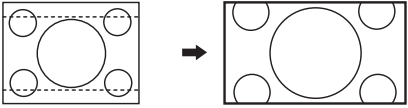
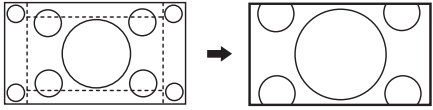
DHCP	⊙OFF ○ON
IP ADDRESS	192.168.0.8
SUBNET MASK	255.255.255.0
GATEWAY	192.168.0.1
PORT	1024
LAN SPEED	⊙AUTO ○10 HALF ○10 FULL ○100 HALF ○100 FULL
NETWORK ID	0

SAVE

お知らせ
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- DHCPサーバーを使用しているとき、IP ADDRESS、SUBNET MASK、GATEWAYの値は入力できません。
- 設定値が正しく変更されると「NETWORK SETTING CHANGED.」が表示され、変更された設定項目も表示されます。

項目	説明
DHCP	DHCPサーバーを利用する場合は「ON」に、利用しない場合は「OFF」にします。
IP ADDRESS	IPアドレスを入力します。
SUBNET MASK	サブネットマスクを入力します。
GATEWAY	ゲートウェイアドレスを入力します。
PORT	コマンドコントロールで使用するポート番号を入力します。設定範囲は1024〜65535です。
LAN SPEED	LAN環境の接続速度を設定します。
NETWORK ID	本機を識別するIDを設定します。設定範囲は0〜99です。
SAVE	各設定値を保存します。

パスワード設定（パスワード設定画面）

メニューの「CHANGE PASSWORD」をクリックしてください。WEBブラウザコントロールにアクセスするためのパスワード設定を行うことができます。ここでパスワードを変更すると、コマンドコントロール、PJLink™セキュリティ認証で使用するパスワードも変更されます。

OLD PASSWORD	••••••
NEW PASSWORD	••••••••••
NEW PASSWORD (RETYPE)	••••••••••

SAVE

お知らせ
- 出荷時のパスワードは、「Panasonic」です。
- パスワードで使用できる文字は半角英数字で、32文字以内です。
- パスワードが正しく変更されると「Password has changed.」が表示されます。

項目	説明
OLD PASSWORD	変更前のパスワードを入力します。
NEW PASSWORD	変更後のパスワードを入力します。
NEW PASSWORD (RETYPE)	確認のため、「NEW PASSWORD」で入力したパスワードを再度入力します。
SAVE	変更後のパスワードを保存します。確認画面が表示され、「OK」をクリックすると、パスワードが変更されます。

画面モード一覧

画面モード		映像 ➡ 拡大画面	説　明
All Aspect : On	工場出荷時 All Aspect : Off		
16:9	フル	➡ ➡	映像を画面いっぱいに表示します。 SD信号の場合は4:3の映像を横方向に拡大します。16:9のアナモフィック映像を表示するのに適しています。
14:9	－	➡	14:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大します。垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し小さめに表示します。映像の上下端はカットされます。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
Just Just1	ジャスト	➡	4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。画面の左右周辺は少し伸びた表示になります。
Just2	サイドカット ジャスト	➡	4:3の映像を横方向に拡大し、違和感の少ない映像にします。映像の左右端はカットされます。画面の左右端周辺は少し伸びた表示になります。
4:3 4:3 (1)	ノーマル	➡	4:3映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
4:3 (2)	サイドカット ノーマル	➡	4:3の映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
4:3 Full	サイドカット フル	➡	4:3の映像を横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の左右端はカットされます。
Zoom Zoom1	ズーム	➡	16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
Zoom2	サイドカット ズーム	➡	16:9のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。
Zoom3	－	➡	2.35:1のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、垂直は画面いっぱいに、水平は画面より少し大きめに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。

Weekly Command Timer のコマンド

No.	コマンド	制御内容
1	AAC:MENCLR	音声メニュー クリア
2	AAC:MENDYN	音声メニュー ダイナミック
3	AAC:MENSTD	音声メニュー スタンダード
4	AAC:SURMON	サラウンド ON
5	AAC:SUROFF	サラウンド OFF
6	AMT:0	音声ミュート OFF
7	AMT:1	音声ミュート ON
8	–	–
9	–	–
10	AVL:00	音量 00
11	AVL:10	音量 10
12	AVL:20	音量 20
13	AVL:30	音量 30
14	AVL:40	音量 40
15	AVL:50	音量 50
16	AVL:60	音量 60
17	DAM:FULL	画面モード フル
18	DAM:JUST	画面モード ジャスト
19	DAM:NORM	画面モード ノーマル
20	–	–
21	DAM:ZOOM	画面モード ズーム
22	–	–
23	–	–
24	–	–
25	–	–
26	–	–
27	–	–
28	–	–
29	–	–
30	–	–
31	–	–
32	–	–

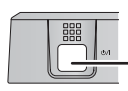
No.	コマンド	制御内容
33	–	–
34	–	–
35	–	–
36	–	–
37	–	–
38	–	–
39	IMS:SL1	入力切換 SLOT INPUT選択
40	IMS:S1A	入力切換 SLOT INPUT A選択
41	IMS:S1B	入力切換 SLOT INPUT B選択
42	IMS:VD1	入力切換 VIDEO選択
43	IMS:YP1	入力切換 COMPONENT選択
44	IMS:HM1	入力切換 HDMI選択
45	IMS:DV1	入力切換 DVI選択
46	IMS:PC1	入力切換 PC選択
47	–	–
48	–	–
49	–	–
50	–	–
51	–	–
52	–	–
53	–	–
54	–	–
55	OSP:SCR0	スクリーンセーバー白色バー OFF
56	OSP:SCR1	スクリーンセーバー白色バー ON
57	POF	電源「切」
58	PON	電源「入」
59	SSC:FNC0	スクリーンセーバー機能選択 白色バー
60	SSC:FNC1	スクリーンセーバー機能選択 色反転
61	SSC:MOD0	スクリーンセーバー動作選択 OFF
62	SSC:MOD3	スクリーンセーバー動作選択 ON
63	VMT:0※	映像ミュート OFF
64	VMT:1※	映像ミュート ON

※ リモコン操作による電源の入/切では、映像ミュート状態は解除できません。ディスプレイ本体のボタンによる電源の入/切またはコマンドVMT:0で解除されます。

表示可能な入力信号

＊：表示可能な入力信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	COMPONENT/RGB IN, PC IN (Dotclock(MHz))	DVI-D IN (Dotclock(MHz))	HDMI
1	525 (480) / 60i	15.73	59.94	＊ (13.5)	＊ (27.0)	＊
2	525 (480) / 60p	31.47	59.94	＊ (27.0) ※5	＊ (27.0)	＊
3	625 (575) / 50i	15.63	50.00	＊ (13.5)		
4	625 (576) / 50i	15.63	50.00		＊ (27.0)	＊
5	625 (575) / 50p	31.25	50.00	＊ (27.0)		
6	625 (576) / 50p	31.25	50.00		＊ (27.0)	＊
7	750 (720) / 60p	45.00	60.00	＊ (74.25)	＊ (74.25)	＊
8	750 (720) / 50p	37.50	50.00	＊ (74.25)	＊ (74.25)	＊
9	1,125 (1,080) / 60p	67.50	60.00	＊ (148.5) ※1	＊ (148.5)	＊
10	1,125 (1,080) / 60i	33.75	60.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	＊
11	1,125 (1,080) / 50p	56.26	50.00	＊ (148.5) ※1	＊ (148.5)	＊
12	1,125 (1,080) / 50i	28.13	50.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	＊
13	1,125 (1,080) / 24sF	27.00	48.00	＊ (74.25) ※2		
14	1,125 (1,080) / 30p	33.75	30.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	
15	1,125 (1,080) / 25p	28.13	25.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	
16	1,125 (1,080) / 24p	27.00	24.00	＊ (74.25) ※1	＊ (74.25)	＊
17	1,250 (1,080) / 50i	31.25	50.00	＊ (74.25) ※3		
18	2,048 × 1,080 / 24sF ※7	27.00	48.00			
19	2,048 × 1,080 / 24p ※7	27.00	24.00			
20	640 × 400 @70 Hz	31.46	70.07	＊ (25.17)		
21	640 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	＊ (25.18) ※6	＊ (25.18)	＊
22	640 × 480 @72 Hz	37.86	72.81	＊ (31.5)		
23	640 × 480 @75 Hz	37.50	75.00	＊ (31.5)		
24	640 × 480 @85 Hz	43.27	85.01	＊ (36.0)		
25	800 × 600 @56 Hz	35.16	56.25	＊ (36.0)		
26	800 × 600 @60 Hz	37.88	60.32	＊ (40.0)	＊ (40.0)	＊
27	800 × 600 @72 Hz	48.08	72.19	＊ (50.0)		
28	800 × 600 @75 Hz	46.88	75.00	＊ (49.5)		
29	800 × 600 @85 Hz	53.67	85.06	＊ (56.25)		
30	852 × 480 @60 Hz	31.47	59.94	＊ (33.54) ※6	＊ (34.24)	＊
31	1,024 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		＊ (51.89)	＊
32	1,024 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	＊ (65.0)	＊ (65.0)	＊
33	1,024 × 768 @70 Hz	56.48	70.07	＊ (75.0)		
34	1,024 × 768 @75 Hz	60.02	75.03	＊ (78.75)		
35	1,024 × 768 @85 Hz	68.68	85.00	＊ (94.5)		
36	1,066 × 600 @60 Hz	37.64	59.94	＊ (53.0)	＊ (53.0)	＊
37	1,152 × 864 @60 Hz	53.70	60.00		＊ (81.62)	＊
38	1,152 × 864 @75 Hz	67.50	75.00	＊ (108.0)		
39	1,280 × 768 @60 Hz	47.70	60.00	＊ (80.14)		
40	1,280 × 960 @60 Hz	60.00	60.00	＊ (108.0)		
41	1,280 × 960 @85 Hz	85.94	85.00	＊ (148.5)		
42	1,280 × 1,024 @60 Hz	63.98	60.02	＊ (108.0)	＊ (108.0)	＊
43	1,280 × 1,024 @75 Hz	79.98	75.03	＊ (135.0)		
44	1,280 × 1,024 @85 Hz	91.15	85.02	＊ (157.5)		
45	1,366 × 768 @50 Hz	39.55	50.00		＊ (69.92)	＊
46	1,366 × 768 @60 Hz	48.36	60.00	＊ (86.71)	＊ (87.44)	＊
47	1,400 × 1,050 @60 Hz	65.22	60.00		＊ (122.61)	＊
48	1,600 × 1,200 @60 Hz	75.00	60.00	＊ (162.0)	＊ (162.0)	＊
49	1,600 × 1,200 @65 Hz	81.25	65.00	＊ (175.5)		
50	1,920 × 1,080 @60 Hz	67.50	60.00	＊ (148.5) ※4	＊ (148.5)	＊
51	1,920 × 1,200 @60 Hz	74.04	59.95		＊ (154.0)	＊
52	Macintosh13” (640 × 480)	35.00	66.67	＊ (30.24)		
53	Macintosh16” (832 × 624)	49.72	74.54	＊ (57.28)		
54	Macintosh21” (1,152 × 870)	68.68	75.06	＊ (100.0)		

※1　SMPTE 274M準拠。　※2　SMPTE RP211準拠。　※3　SMPTE 295M準拠。
※4　1,125 (1,080) / 60p として認識します。
※5　PC INに525p信号を入力し、RGBフォーマット選択した場合、VGA 60 Hzとして認識します。
※6　PC IN以外の入力端子にVGA 60 Hzフォーマットの信号が入力された場合、525pとして認識します。
※7　SMPTE 292M, 372M準拠。Dual Link HD-SDI端子ボード（TY-FB11DHD）装着時に受像可能となります。

ビデオ入力（VIDEO）

	信号名	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	NTSC	15.73	59.94
2	PAL	15.63	50.00
3	PAL60	15.73	59.94
4	SECAM	15.63	50.00
5	M.NTSC	15.73	59.94

工場出荷時の設定に戻すには

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「画面位置/サイズ」「テクニカル」「オプション」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

	リモコン操作	本体操作
1	SET UP 押して「初期設定」メニュー画面を表示する。	MENU を数回押す
2	① 押して「表示言語切換」を選択する。 ② 3秒以上押す。	–/▼ または +/▲ を押す。
3	① 押して「Shipping」を選択する。 ② 押して「Shipping」画面を表示する。	ENTER/■ を5秒以上押す。
4	① 押して「YES」を選択する。 ② 押す。	+/▲ ❶ 押す。 ENTER/■ ❷ 押す。
5	10秒以上待った後、本体の電源（⏻/I）スイッチを押して電源を切る。	

修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● プラズマディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があり、これは故障ではありません。	―
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグが外れていませんか。	11・18
電源が自動的に切れる	●「初期設定」メニューの「PCパワーマネージメント」、「DVI-Dパワーマネージメント」、「無信号自動オフ」または「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	42・43
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	―
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 ● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 ● 本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません） ● オプションメニューの「Remocon User level」設定を「Off」以外にしていませんか。	― ― ― 60
IDリモコンで操作できない	●「Remote ID」設定を「On」にしていませんか。また、リモコンの操作モード切り換えスイッチを「ID」側にしていませんか。（「Remote ID」設定を「On」にしている場合はリモコンの操作モード切り換えスイッチを「ID」側にしてID番号を設定する必要があります）	60
本機から時々、「ピシッ」と音がする	● 画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。	―
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	―
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。	―
色あいが悪い、色が薄い	● 色の濃さ、色あいの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	32
色模様が出たり色が消える	● 他のテレビから影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	―
ズームにしたとき画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	28～30
ズームにしたとき画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16：9より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	23・24
映像の輪郭がチラチラする	● パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	―
内部から音がする	● 電源を入れると、ディスプレイパネルの駆動音が聞こえる場合があります。故障ではありませんので、ご了承ください。	―
色が極端に悪い	●「コンポーネント入力切換」の「色差ビデオ」、「RGB」は正しく選択されていますか。	42
4：3 映像の両端部分の明るさが変わる	●「サイドパネル設定」を「高」または「中」にして見ていると、表示内容によっては両端部分の明るさが変化する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。	45
動きの少ない明るい映像のときに画面が少し暗くなる	● 写真やパソコンの静止画像など動きの少ない明るい映像を長い間表示すると画面がやや暗くなります。 これは、画面の焼き付きや寿命の劣化を軽減するためで、故障ではありません。	―
ディスプレイ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	● 本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。 排気孔からのほこりが壁に付着することもありますので、設置場所にご注意願います。	―
本体底面のボタンで操作できない	● オプションメニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていませんか。	60

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

72 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間
(ただしプラズマディスプレイパネルの焼き付きは除く)

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このプラズマディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご　氏　名	
ご　住　所	付近の見取り図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪問ご希望日	

仕様

	品番	TH-60PF30（60V 型）※	TH-65PF30（65V 型）※
本体	種類	ハイビジョンプラズマディスプレイ	
	使用電源	AC100 V ±10 %　50 Hz ／ 60 Hz	
	消費電力	495 W	535 W
		本 体 電 源「切」時　約 0.2 W リモコンで電源「切」時 約 0.4 W（待機電力低減設定「オン」） 約 0.7 W（待機電力低減設定「オフ」）	
	音声実用最大出力	16 W（8 W + 8 W）JEITA［専用スピーカーを使用］	20 W（10 W + 10 W）JEITA［専用スピーカーを使用］
	プラズマディスプレイパネル	駆動方式 AC型	
		60V 型※（アスペクト比16：9）	65V 型※（アスペクト比16：9）
	画面寸法	幅 133.0 cm　高さ 74.8 cm　対角 152.6 cm	幅 143.4 cm　高さ 80.6 cm　対角 164.5 cm
	画素数	2,073,600画素（水平1,920×垂直1,080） ［ドット数5,760×1,080］	
	動作使用条件	温度：0 ℃～ 40 ℃　湿度：20 %～ 80 %	
	LAN端子 LAN	RJ45　10BASE-T/100BASE-TX、PJLink™対応	
	ビデオ入力端子 AV IN	VIDEO　BNC接栓　1.0 V [p-p] (75 Ω) AUDIO L-R　RCAピンジャック×2　0.5 V [rms]	
	HDMI入力端子 HDMI	TYPE Aコネクター	
	コンポーネントビデオ/RGB入力端子 COMPONENT/RGB IN	Y/G　BNC接栓　1.0 V [p-p] (75 Ω)　同期信号を含む P_B/C_B/B　BNC接栓　0.7 V [p-p] (75 Ω) P_R/C_R/R　BNC接栓　0.7 V [p-p] (75 Ω) AUDIO L-R　RCAピンジャック×2　0.5 V [rms]	
	デジタルRGB入力端子 DVI-D IN	DVI-D 24ピン　DVI Revision 1.0準拠　HDCP 1.1対応 AUDIO　M3ジャック　0.5 V [rms]　PC INと共用	
	パソコン入力端子 PC IN	ミニD-sub 15ピン SXGA対応：マルチスキャン方式（DDC2B対応） ＊対応周波数：水平15 kHz ～ 110 kHz　垂直48 Hz ～ 120 Hz （但し表示ドット数が水平あるいは、垂直画素数を超える信号は簡易表示） Y/G　1.0 V [p-p] (75 Ω)　同期信号を含む 　0.7 V [p-p] (75 Ω)　非同期信号時 P_B/C_B/B　0.7 V [p-p] (75 Ω) P_R/C_R/R　0.7 V [p-p] (75 Ω) HD/VD　1.0 ～ 5.0 V [p-p]（ハイインピーダンス） AUDIO　M3ジャック　0.5 V [rms]　DVI-D INと共用	
	シリアル端子 SERIAL	外部制御用端子 D-sub 9ピン　RS-232C準拠	
	3Dシャッター出力端子 3D IR TRANSMITTER	3D IR トランスミッター用 3D SHUTTER OUT　M3ジャック×1 DC 8V OUT　センタープラス　EIAJ 4mmプラグ対応	
	外部スピーカー端子 EXT SP	6 Ω、16 W [8 W + 8 W]（10 % THD）	8 Ω、20 W [10 W + 10 W]（10 % THD）
	外形寸法	幅 143.4 cm　高さ 85.2 cm　奥行 9.9 cm	幅 155.4 cm　高さ 92.5 cm　奥行 9.9 cm
	質量	約　49.0 kg	約　60.0 kg
	キャビネット材質	前面：樹脂、バックカバー：金属	

	項目	仕様
リモコン	品番	N2QAYB000535
	使用電源	DC 3 V（単3形乾電池2コ）
	操作距離	約 7 m以内（プラズマディスプレイ正面距離）
	使用範囲	受信部左右：30°以内、受信部上下：20°以内
	質量	約 100 g（乾電池含む）

※ ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

〈当製品に関するソフトウエア情報〉
この製品には、一部Free BSD LICENSEに基づきライセンスされるソフトウエアを搭載しております。
上記規定に基づきFree BSD LICENSE規定を記載します。
（なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。）

商標について

- VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国 Apple Inc. 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。